

科目名	音声表現論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の教育のなかでこれまであまり熱心に行われてこなかった「読む」「話す」「聞く」などの音声表現に注目する。新聞・随筆・小説・詩・短歌・俳句などを声に出して朗読し、作品をより深く味わう。演習で発音や発声、アクセントや鼻濁音などの日本語の音声表現の基礎も同時に学ぶ。さらに、自分の意見を述べる、他の人の話をしっかり聞くための訓練もしたい。

内容

1	腹式呼吸、発音発声の基礎を学ぶ
2	短いスピーチで自分の音声表現を検討する
3	声に出して朗読するときの基本を学ぶ
4	新聞記事を読み、伝える
5	随筆を読み、内容を紹介する
6	小説を読み、味わう
7	「私の読書案内」スピーチ
8	スピーチの内容検討
9	詩・短歌・俳句などを朗読する
10	子どもとことば
11	絵本・昔話などの読み聞かせ
12	日本語の音声表現について考える
13	「外郎売」で、発音発声訓練のまとめ
14	ことばで自分を表現する
15	まとめ

評価

各回ごとの課題作成(30%)、口頭発表(50%)、クラスへの貢献度(20%)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】好本恵著『話しことばの花束』(発行:リヨン社、定価1700円)

【推薦書】半谷進彦・佐々木端『基礎から学ぶアナウンス』(発行:NHK出版、定価1200円)

【参考図書】『新版NHKアナウンス・セミナー』(発行:NHK出版、定価2000円)

科目名	日本文学特講		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学・日本文化に関する専門選択科目の講義の一つです。日本の文学史(古代・中古)、古代の文学、物語文学論、日本の宗教文化と関連します。

平安時代初頭に編まれた『日本霊異記』は、民衆を教化する意図で、この世界に作用する因果応報の理法を描き出した説話集です。『日本霊異記』の説話は神話的世界や民間説話・世間話などつながりながら、神話的世界が仏教的世界へと包み込まれていく過程をうかがわせるものが多数あります。この授業では、『日本霊異記』の説話を具体的に読み解いて分析し、説話の生成の仕方、伝承世界の変質のありよう、さらには神と仏の葛藤を中心とする、古代日本人の精神世界の変容の過程を探ります。

説話の内容の読解を通して、作品のテクストとしての特性や、古代人の精神世界の変容過程を理解することが科目の学修目標です。

内容

- (1) 『日本霊異記』概説(編纂者・成立年次・構成など)
- (2) 仏教的世界観(因果応報と輪廻転生)
- (3) 神話から説話へ
- (4) 小子部栖軽の話
- (5) 異類婚姻譚の変質
- (6) 雷神信仰の変容
- (7) 聖徳太子の信仰
- (8) コスモロジーと他界観
- (9) 冥界訪問 - 浄土
- (10) 冥界訪問 - 地獄めぐり
- (11) 畜類転生譚
- (12) 死者の語りと鎮魂
- (13) 病いと宿業の論理
- (14) 病気治療と僧の験力
- (15) 前期のまとめと確認

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

評価

試験またはレポート70%、授業内での提出物・小レポートなど30%の割合です。六割以上を合格とします

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書：霊異記のテキストを用意してください。新潮日本古典集成『日本霊異記』、ちくま学芸文庫『日本霊異記』（上・中・下）、新編日本古典文学全集『日本霊異記』など。授業時に説明します。

参考文献：益田勝実『説話文学と絵巻』（三一書房）、守屋俊彦『日本霊異記の研究』正・続（三弥井書店）、同『日本霊異記論』（和泉書院）、多田一臣『古代国家の文学』（三弥井書店）、永藤靖『日本霊異記の新研究』（新典社）など。そのほか参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	文学／芸術総論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当て考察していく講義である。

本年度のテーマは「日本文化における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学では日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわす天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義で学ぶ様々な 異界 分析を、受講生自身の身近な問題としてとらえてもらいたい。 異界 を知ることによって、既存の世界を見直し、自分自身の存在を再確認することが本授業のねらいである。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の人々が最も身近に認識していた 異界 として、まずは 夢 を取り上げ、様々な文学作品を通して見えてくる王朝社会の精神文化について考える。さらに 夢 とも関連性のある貴族社会の一現象として、怨霊を取り上げたい。王朝時代に現実社会で恐れられていた怨霊を歴史的資料からピックアップしてその実態を追うと共に、それと『源氏物語』に描かれた怨霊を比較し、王朝文化における 異界 について考えてみたい。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説（上田秋成・井原西鶴）・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探ってみよう。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を、平常点がある程度満たし、総合点が60点に満たない場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	文学／芸術総論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当て考察していく講義である。

本年度のテーマは「日本文化における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学では日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわす天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義で学ぶ様々な 異界 分析を、受講生自身の身近な問題としてとらえてもらいたい。 異界 を知ることによって、既存の世界を見直し、自分自身の存在を再確認することが本授業のねらいである。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の人々が最も身近に認識していた 異界 として、まずは 夢 を取り上げ、様々な文学作品を通して見えてくる王朝社会の精神文化について考える。さらに 夢 とも関連性のある貴族社会の一現象として、怨霊を取り上げたい。王朝時代に現実社会で恐れられていた怨霊を歴史的資料からピックアップしてその実態を追うと共に、それと『源氏物語』に描かれた怨霊を比較し、王朝文化における 異界 について考えてみたい。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説(上田秋成・井原西鶴)・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探ってみよう。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を、平常点がある程度満たし、総合点が60点に満たない場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	文学／芸術総論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当て考察していく講義である。

本年度のテーマは「日本文化における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学では日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわす天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義で学ぶ様々な 異界 分析を、受講生自身の身近な問題としてとらえてもらいたい。 異界 を知ることによって、既存の世界を見直し、自分自身の存在を再確認することが本授業のねらいである。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の人々が最も身近に認識していた 異界 として、まずは 夢 を取り上げ、様々な文学作品を通して見えてくる王朝社会の精神文化について考える。さらに 夢 とも関連性のある貴族社会の一現象として、怨霊を取り上げたい。王朝時代に現実社会で恐れられていた怨霊を歴史的資料からピックアップしてその実態を追うと共に、それと『源氏物語』に描かれた怨霊を比較し、王朝文化における 異界 について考えてみたい。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説（上田秋成・井原西鶴）・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探ってみよう。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を、平常点がある程度満たし、総合点が60点に満たない場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	文学 / 芸術総論		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当て考察していく講義である。

本年度のテーマは「日本文化における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学では日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわす天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義で学ぶ様々な 異界 分析を、受講生自身の身近な問題としてとらえてもらいたい。 異界 を知ることによって、既存の世界を見直し、自分自身の存在を再確認することが本授業のねらいである。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の人々が最も身近に認識していた 異界 として、まずは 夢 を取り上げ、様々な文学作品を通して見えてくる王朝社会の精神文化について考える。さらに 夢 と関連性のある貴族社会の一現象として、怨霊を取り上げたい。王朝時代に現実社会で恐れられていた怨霊を歴史的資料からピックアップしてその実態を追うと共に、それと『源氏物語』に描かれた怨霊を比較し、王朝文化における 異界 について考えてみたい。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説(上田秋成・井原西鶴)・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探してみたい。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を、平常点がある程度満たし、総合点が60点に満たない場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	マスコミ・メディア総論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代のメディア社会の問題を軸に、日常生活でふれる文化、それを支える感性の形成を総合的に考察していきます。人と人のあいだをつなぐものという「メディア」本来の意味をふまえながら、現代社会におけるコミュニケーションやネットワークの在り方を、過去の歴史とともに検討し、旧来のアナログ社会とのバランスを論じていきます。現代のメディア社会の状況とその問題点を理解し、そこにどう対処していけばよいか自らの力で考えられるようになることを目標とします。

内容

1	友だち100人できるのか？
2	尻尾はつかませたほうがいい
3	事件の背景をよむちから
4	無意識のつながり
5	本当のリアリティとは
6	プロとアマ
7	文化サロン
8	勝海舟談話
9	裏舞台のネットワーク
10	賢人セネカ
11	セネカをよむ
12	嵐の中で死者と語らう
13	歴史はわたし
14	わたしがメディアになる
15	総括

評価

毎回のリアクションペーパー(50%)、学期末試験(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	マスコミ・メディア総論		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代のメディア社会の問題を軸に、日常生活でふれる文化、それを支える感性の形成を総合的に考察していきます。人と人のあいだをつなぐものという「メディア」本来の意味をふまえながら、現代社会におけるコミュニケーションやネットワークの在り方を、過去の歴史とともに検討し、旧来のアナログ社会とのバランスを論じていきます。現代のメディア社会の状況とその問題点を理解し、そこにどう対処していけばよいか自らの力で考えられるようになることを目標とします。

内容

1	友だち100人できるのか?
2	尻尾はつかませたほうがいい
3	事件の背景をよむちから
4	無意識のつながり
5	本当のリアリティとは
6	プロとアマ
7	文化サロン
8	勝海舟談話
9	裏舞台のネットワーク
10	賢人セネカ
11	セネカをよむ
12	嵐の中で死者と語らう
13	歴史はわたし
14	わたしがメディアになる
15	総括

評価

毎回のリアクションペーパー(50%)、学期末試験(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	マスコミ・メディア総論		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代のメディア社会の問題を軸に、日常生活でふれる文化、それを支える感性の形成を総合的に考察していきます。人と人のあいだをつなぐものという「メディア」本来の意味をふまえながら、現代社会におけるコミュニケーションやネットワークの在り方を、過去の歴史とともに検討し、旧来のアナログ社会とのバランスを論じていきます。現代のメディア社会の状況とその問題点を理解し、そこにどう対処していけばよいか自らの力で考えられるようになることを目標とします。

内容

1	友だち100人できるのか?
2	尻尾はつかませたほうがいい
3	事件の背景をよむちから
4	無意識のつながり
5	本当のリアリティとは
6	プロとアマ
7	文化サロン
8	勝海舟談話
9	裏舞台のネットワーク
10	賢人セネカ
11	セネカをよむ
12	嵐の中で死者と語らう
13	歴史はわたし
14	わたしがメディアになる
15	総括

評価

毎回のリアクションペーパー(50%)、学期末試験(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	硬筆書道		
担当教員名	長濱 トモ子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格—この科目は手書きで「文字を書く」ことの意義を認識し、硬筆によって文字を正しく、美しく、速く書く技能と理論を学びます。

科目の概要—パソコンや携帯が全盛の現在、日常表記活動の多くが、「書く」から「キーを打つ」、「画面を押す」へと変化してきました。授業では「手書き」には長い歴史に支えられた大きな意義があることを認識して、硬筆による漢字やかなの知識と技法を身につけます。実用書を正しく美しく書く力を養うとともに、硬筆作品を制作する喜びを味わい、「文字を書く」豊かな心を培います。身につけた力を試すために、文部科学省後援「硬筆書写検定」の受験指導も致します。

硬筆書写検定・・・自分が持っている書写の力を証明し、合格資格が与えられ、履歴書に明記できる、わが国唯一の硬筆書写検定です。

学修目標— 筆記具の持ち方、姿勢、執筆のくせを直し、正しい書法に基づいて練習するように心がける。 注意深く手本を学び、字形や筆順、書体の要領を身につける。 漢字かな交じり文を目的に適した書体、文字の大きさ、配置に配慮して、体裁よく書けるようにする。 各回ごとに、清書作品を提出する。

内容

1	1.硬筆書道の学び方	16.楷書と行書
2	2.かな(ひらがな、カタカナ)の基本1	17.芳名帳 慶弔用語
3	3. " 2	18.掲示物1
4	4.楷書の基本1	19. " 2
5	5. " 2	20.ひらがなの連綿1
6	6. " 3	21. " 2
7	7. " 4	22.漢字かな交じり文
8	8.数字・アルファベット	23.作品制作1
9	9.横書き	24. " 2
10	10.履歴書1	25. " 3
11	11. " 2	26.年賀状1
12	12.行書の基本1	27. " 2
13	13. " 2	28.封筒・手紙文1
14	14.暑中見舞1	29. " 2
15	15. " 2	30.まとめ

評価

提出作品6割、平常点4割、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川端比侶子「ペン習字ハンドブック」日本習字普及協会
適宜プリントを配布する

【推薦書】狩田巻山「ペン字精習」上・下 日本習字普及協会

【参考図書】江守賢治「楷行草 筆順・字体字典」三省堂
高田・大久保・長尾・宮崎（共著）「ペン習字三体」 日本習字普及協会

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語を母語として育った私たちにとって、日本語は“無意識的”な存在である。この演習では、普段、意識して使っていない日本語を“意識的”に捉えることで、身近な日本語の構造、表現形式にみられる工夫を探る。

科目の概要

分析対象の日本語としては、例えば、マスメディアであるニュース番組、新聞、TVCM、雑誌などが挙げられる。各メディアの表現、構造にはどのような工夫がみられるだろうか。また、雑談、相談場面などの会話データを収集し、無意識の言語行動に注目するのも興味深い。私たちは、いつ、どのようなあいづちを使っているのだろうか。発話が重なる時はどのような時なのだろうか。さらには、私たちの生活に欠かせない携帯メール、ブログといった新しいコミュニケーションツールも分析対象となる。メールの絵文字の表現効果とは、日記とブログの違いは、チャットやSNSならではのコミュニケーションとは……。テキストで示された課題や研究観点に沿って、受講生自らがデータを収集・分析し、身近な言語現象にみられる工夫やそのメカニズム解き明かしていく。

学修目標

身近な日本語に興味・関心を持ち、日本語を客観的に捉える力を身につけることを目標とする。

内容

前期はテキストで示された研究角度に沿って、各自収集したデータに対して分析・発表を行う。夏季休業中は、発表時の質疑応答を活かしレポートを作成する。後期は夏季レポートの発表を行う。学年末には、再度レポートをまとめて提出する。なお、授業内容・スケジュールは、受講生の人数や興味・関心などに基づいて調整する可能性がある。

【前期】

- 1回目 オリエンテーション、参考資料の配付、文章・談話の分析とは
- 2回目 レジユメの作成・発表の仕方について、発表担当者の決定
- 3回目 分析の紹介
- 4回目～13回目 受講生による発表・質疑・討論
- 14回目 日本語学のレポートの書き方について
- 15回目 前期のまとめ

【後期】

- 16回目～20回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 21回目～24回目 データセッション
- 25回目～29回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 30回目 まとめ

評価

平常点・討論への参加・演習への貢献度（20％）発表（30％）夏季レポート（20％）学年末レポート（30％） 6
0点以上を合格とする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】高崎みどり・立川和美編(2008)『ここからはじまる文章・談話』ひつじ書房

【参考図書】適宜紹介する

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

以前は専門的な技術者の分業によっていた出版・編集が、近年ではコン ピュータを使うことによって、簡単かつパーソナルに行えるようになりました。この授業ではイラストレータとフォトショップというデザイナーにとっては定番 のソフトを使用して、マークやイラストを描き、文字や写真とともに編集・デザインして最終的に本という形にまとめていきます。素材の選び方、料理の仕方によって、さまざまな表現の可能性があることを知り、実際に作品を制作する体験をします。オリジナルな「自分の表現」を見つけましょう。

イラストレータとフォトショップにはそれぞれに特徴があります。特性を知り、上手に使っていくための演習をします。実際に作品を作っていくので、出席して一步一步作業を進めることが大切です。それに加え、普段から本や絵本を見て、自分の感性を磨いておきましょう。

内容

イラストレータ、フォトショップのインターフェイスを知り、ツールなどの使用法を学ぶ。

イラストレータで自分のマークを作り、それを使ったステイショナリーを作る。

フォントについて学習し、フォントの使い方を実習。

フォトショップによる写真や画像の調整方法も平行して覚えていく。

CDジャケットや文庫本のカバーを作成。

「本」の構造を学び、前期はテキストを主体とした詩集をつくり、製本する。

後期はフォトショップを本格的に学習し、イラストレーションを主体とした絵本を作成する。

また、フォトショップのアニメーション機能を使って、簡単なアニメーションを作成する。

評価

評価 平常点40点 提出物 60点 として、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず。適宜プリントを配布します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

< 火事と喧嘩は江戸の華 > そんな江戸時代に成立した浮世絵は、江戸の町における人情や流行などの情報を盛り込みながら美しい色と形からなる日本独自の美術である。

この授業の目的は二つある。第一は、江戸時代に成立した新しいジャンルである、浮世絵を学びながら、浮世絵の中の江戸空間 に入り込んで、江戸の美術を楽しく鑑賞することである。第二は、日本と世界のさまざまに個性的な美術館・博物館を調べて、そのコレクションの特色を知り、21世紀の新しい美術館・博物館のあり方を探り、いつかそこを訪れることである。

演習形式の授業であり、各自の感性にあった浮世絵師を選び、多くの資料からその人生と作品を調べて、独自のテーマでプレゼンテーションをする。授業の最後は、全員でのディスカッションである。

毎年、最後にその年のメンバー全員が行った研究成果をまとめた『近世レポート』を作成している。

内容

1	<前期> 序 浮世絵とは
2	浮世絵の概説 浮世絵の歴史
3	浮世絵の概説 浮世絵の種類と作者たち
4	浮世絵の概説 浮世絵の作り方(DVD)
5	4～7 世界の浮世絵を所蔵する美術館の作品をテーマごとに調査する。
6	8～15 (各自の好きな作家の作品についてレポートをする。)
7	15 前期のまとめ
8	<夏期休暇>
9	日本と世界の美術館・博物館を2つずつ調査する(レポート)
10	<後期>
11	1～10 (各自の好きな作家の作品についてレポートをする。)
12	太田記念美術館の紹介
13	<課外授業> 浮世絵太田記念美術館の見学
14	ディスカッション
15	後期のまとめ

評価

評価は、平常点(10点)、レポート(40点)、演習発表と近世レポート原稿作成(50点)のうち、60点以上を合格点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小林 忠監修 『カラー版 / 浮世絵の歴史』 (美術出版社)

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年生の専門選択必修科目です。学生各自の調査にもとづく発表と討議による演習形式により主体的な学習態度を身につけます。

「霊柩車を見たら親指を隠す」「夜、爪を切らない」というタブー・迷信が今でも意外に信じられていることに驚くことはないでしょうか。あるいは河童などの妖怪は信じられなくなってきているとはいえ、口裂け女や学校の怪談などの怪奇な話は繰り返し再生するのはなぜでしょう。私たちがふだん何気なく行っているさまざまな暮らし方や習慣のなかに、実は日本的なものの見方や考え方が潜んでいます。この演習では日本の伝承文化の世界を探ることを通して、日本的なものや、わたしたち自身のありかたを問い直します。

調査・発表の技術を身につけ、伝承文化の概念を理解し、日本的なものについて理解を深めることが学修目標です。

内容

学生の発表と討議による演習形式を中心とします。発表者は担当部分について資料・参考文献を調べ、発表用資料を作成し、それにもとづいて発表を行い。その後、参加者全員で討議していきます。前期の最初の数回は、講義形式で資料・参考文献の調査の方法、伝統社会や民俗学の概要について説明を行ったうえで担当を決定します。

年間のスケジュールは以下の通り。

(1) 授業計画説明

演習担当の決定・調査の手順・発表資料の作成手順・参考文献の解題

(2) 前期演習

出席者と相談の上で以下の二案のどちらかに決定します。

伝承文化のなかから各自の興味・関心のある分野について概説的な発表を行う。例としては[通過儀礼(誕生・出産、葬制・墓制、祖先崇拜など)、年中行事(正月、農耕儀礼など)、まつり・民俗芸能、口承文芸(昔話、伝説、民謡、童謡、世間話、都市伝説など)、民間信仰(俗信、妖怪、まじない、のろいなど)、衣食住、民具など]。

『現代の民話』『遠野物語』に描かれた伝承世界を分担して発表する。

(3) 後期演習

前期の発表からさらに各自のテーマを絞り込み、レポートでの文章化を前提に発表する。

評価

演習の担当部分の発表4割、レポート4割、質疑応答などの平常点2割の配分で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。授業中、講読することが決まったテキストは購入して下さい。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんはお寺や神社でおみくじを引いたことがありますか？日本人はおみくじや占いに古くから親しんできました。本演習では、江戸～明治時代のおみくじを引いて、自分のおみくじを読み解きながら、その背後に広がる人間の生活や信仰、時代の空気などを探っていきます。くずし字で書かれた古いおみくじを読みますので、演習での発表へ入る前に、くずし字読解のトレーニングも行います。

内容

第1回 おみくじ 概説・発表担当順の決定

第2回 発表資料の作成方法について

第3～5回 くずし字読解のための基礎トレーニング

第6回以降 演習担当者による発表

演習形式で、江戸～明治時代の「おみくじ」を読む。発表者は、くずし字で書かれた古いおみくじを読み、それを丁寧に解釈していく。

評価

発表の内容(50点)・レポート(30点)・平常の受講態度(20点)によって評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストはプリントで準備します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

テーマは「日本のなかの外国/外国のなかの日本」。

例えば宇都宮の名物がギョーザだというのは、よく考えるとヘンな気がしませんか？あるいは、ジンギスカン焼肉は本当はモンゴル料理じゃなくて日本料理であるとか、日本の(日本だけではありませんが)女性に大人気のルイ・ヴィトン、本場パリでは若い人は身につけないって、知っていますか？

ふだんにげなく接している「外国のもの」や「外国的なもの」を良く調べてみると、なんかヘンだぞ日本人！という実態がみえてきます。そこからあらためて、日本文化とはなにか、どのようなものなのか、じっくり考えてみましょう。

内容

授業では、参加者各自が、好みの国・地域をえらび、それに関わる文物の移入のされ方や、使われ方の歴史、小説や演劇、音楽、マスコミ、街なかでのとり上げられ方など、多角的に調査のうえ報告し、全員で討論しながら、日本文化とはどのようなものなのか、考えてもらいたいと思います。

好みの文物から、それが喚起する国や地域について考察してもよいです。

評価

議論への参加・貢献度(50%)、学年末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】マイク・モラスキー『戦後日本のジャズ文化 映画・文学・アングラ』(青土社)

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

少人数の学生を対象とした、テキストに関して考え、そして論じる力を養成する講座です。この科目では、映像テキスト(映画やテレビドラマ、アニメーションやマンガなど)を分析する方法を身につけてもらいます。身近な物語を、理論的に分析し、批評意識を手にしてもらうことになるでしょう。学修目標としては、映像テキストを批評・論評した文章を書くこと、表現力とともにオリジナルな観点を手に入れることとなります。

内容

取り上げるテキストは、例年受講学生と相談のうえで決定しています。具体的には、連続テレビドラマを、各回ごとに担当者を決めて、口頭発表をしてもらうというスタイルを続けています。それと同時に、各自の関心あるテキストを取り上げて報告してもらうのが前期、共通するテキスト(たとえば、取り上げたテレビドラマの第五話を共通のテキストとして)を分析して論考に仕上げるのが後期、となります。いずれにせよ、受講学生は発表することが義務付けられることになります。

評価

各自の発表(30パーセント)と演習への参加(40パーセント)と論考制作(30パーセント)で評価することになります。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

とくにありませんが、授業で紹介することがあります。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

雑誌の企画や構成やレイアウトなどの編集を行い、独自の雑誌を作成する。

共同での作業と個人での作業の両方を行ってもらい、雑誌を作り上げる楽しさを知ってもらいたい。

雑誌の作成を行う。

雑誌作成の過程をまず計画する。企画のアイデアを出し、ページ構成を考えて、文章を書いたりインタビューまとめたりしつつ、雑誌を作り上げていく。

共同で一冊の雑誌を作成したり、また個人でも編集してもらったりする。

雑誌の作成を通じて、編集力・文章力・構成力の各技能の向上を図る。

内容

私たちが手にする一冊の本や雑誌ができるまでには、企画・取材・記事執筆・編集・レイアウトなど様々な段階を経ていきます。本演習では、実際に雑誌作りを体験してもらいます。

全員でアイデアを出し合って企画を練ったり、インタビューを行ったり、記事を書いたりして、実際に雑誌を作成する楽しさを知ってもらおうと思います。

まずグループごとに企画を練り、取材をして記事を書き、雑誌のデザインをするといった共同編集作業による制作を行います。

さらに、各人による個人編集の雑誌作りに挑戦してもらいます。

評価

授業への取り組み(50%)。制作した雑誌についての評価〔記事の内容やレイアウトなど〕(50%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

古典として現代に残っている文学作品は、それ相応の価値を持って長い間読み継がれてきたものです。それゆえ古典は何度読んでも読者それぞれの人生経験に応じて新たな発見ができます。映画やテレビドラマ、漫画、歌劇など、様々なメディアに翻訳され続けている『源氏物語』は、どの時代にも受け入れられる許容性と永遠性を備えた作品です。永遠のヒーロー光源氏をはじめ魅力的な様々な女性たち、そして作者紫式部と出会う楽しみを、原文を基礎として、様々なメディア作品にも触れつつ堪能していきたいと思います。

『源氏物語』を登場人物に即して読んでいきます。受講生がそれぞれ担当する人物を決めて資料を調べ、授業で紹介します。また、担当者以外の受講生は、発表を聞いた後に自分なりの見解や感想を述べ、お互いに学び合います。

文学作品を登場人物に沿って読むだけでなく、それぞれの人物の性格や人生について詳しく調べ、より深い物語理解を目指します。作者が試みた人物造型の意味を各自がとらえ、自分なり物語観を得ることを目標とします。

内容

源氏物語の中から、各自が興味を持っている登場人物や平安時代の習俗について調査し、作成した資料に基づいて発表し、意見交換をして互いに学び合う授業です。講義では気づかなかった様々な発見があり、源氏物語の読み方がそれまでとは変わって、より身近に感じられるはずです。

前期の数回は講義や視聴覚資料によって作品についての概要を学びます。漫画や映画など、様々なメディアに読み替えられた『源氏物語』についても積極的に取り上げていくつもりです。

最後に、各自が好きな登場人物を選んで、研究レポートとしてまとめます。

第1回目 ガイダンス

第2回目 作者についての概説

第3回～5回目 作品についての概説

第6回目以降 研究発表と意見交換(担当者各回に2名ずつ)

発表は各自が最低2回は行い、最終レポートを提出すること。

評価

授業での発表内容が40点とレポートが60点で、60点以上を合格とする。

なお、最終レポートの提出は単位取得の絶対条件とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】なし

【推薦書】新編日本古典文学全集『源氏物語』(小学館)

『源氏物語の鑑賞と基礎知識』鈴木一雄監修(至文堂)

『人物で読む源氏物語』(勉誠出版)

その他、源氏物語関係の書は多数あるので、授業で適宜紹介していく。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この演習では、日本語を“意識的”に捉えることで、身近な日本語の構造、表現形式にみられる工夫を探る。

科目の概要

分析対象の日本語としては、例えば、マスメディアであるニュース番組、新聞、TVCM、雑誌などが挙げられる。各メディアの表現、構造にはどのような工夫がみられるだろうか。また、雑談、相談場面などの会話データを収集し、無意識の言語行動に注目するのも興味深い。私たちは、いつ、どのようなあいづちを使っているのだろうか。発話が重なる時はどのような時なのだろうか。さらには、私たちの生活に欠かせない携帯メール、ブログといった新しいコミュニケーションツールも分析対象となる。メールの絵文字の表現効果とは、日記とブログの違いは、チャットやSNSならではのコミュニケーションとは……。テキストで示された課題や研究観点に沿って、受講生自らがデータを収集・分析し、身近な言語現象にみられる工夫やそのメカニズム解き明かしていく。

学修目標

身近な日本語に興味・関心を持ち、日本語を客観的に捉える力を身につけることを目標とする。

内容

前期はテキストで示された研究角度に沿って、各自収集したデータに対して分析・発表を行う。夏季休業中は、発表時の質疑応答を活かしレポートを作成する。後期は夏季レポートの発表を行う。学年末には、再度レポートをまとめて提出する。なお、授業内容・スケジュールは、受講生の人数や興味・関心などに基づいて調整する可能性がある。

【前期】

- 1回目 オリエンテーション、参考資料の配付、文章・談話の分析とは
- 2回目 レジユメの作成・発表の仕方について、発表担当者の決定
- 3回目 分析の紹介
- 4回目～13回目 受講生による発表・質疑・討論
- 14回目 日本語学のレポートの書き方について
- 15回目 前期のまとめ

【後期】

- 16回目～20回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 21回目～24回目 データセッション
- 25回目～29回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 30回目 まとめ

評価

平常点・討論への参加・演習への貢献度(20%)発表(30%)夏季レポート(20%)学年末レポート(30%) 6

0点以上を合格とする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】高崎みどり・立川和美編(2008)『ここからはじまる文章・談話』ひつじ書房

【参考図書】適宜紹介する

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	船戸 はるな		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Lクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この演習では、日本語を“意識的”に捉えることで、身近な日本語の構造、表現形式にみられる工夫を探る。

科目の概要

分析対象の日本語としては、例えば、マスメディアであるニュース番組、新聞、TVCM、雑誌などが挙げられる。各メディアの表現、構造にはどのような工夫がみられるだろうか。また、雑談、相談場面などの会話データを収集し、無意識の言語行動に注目するのも興味深い。私たちは、いつ、どのようなあいづちを使っているのだろうか。発話が重なる時はどのような時なのだろうか。さらには、私たちの生活に欠かせない携帯メール、ブログといった新しいコミュニケーションツールも分析対象となる。メールの絵文字の表現効果とは、日記とブログの違いは、チャットやSNSならではのコミュニケーションとは……。テキストで示された課題や研究観点に沿って、受講生自らがデータを収集・分析し、身近な言語現象にみられる工夫やそのメカニズム解き明かしていく。

学修目標

身近な日本語に興味・関心を持ち、日本語を客観的に捉える力を身につけることを目標とする。

内容

前期はテキストで示された研究角度に沿って、各自収集したデータに対して分析・発表を行う。夏季休業中は、発表時の質疑応答を活かしレポートを作成する。後期は夏季レポートの発表を行う。学年末には、再度レポートをまとめて提出する。なお、授業内容・スケジュールは、受講生の人数や興味・関心などに基づいて調整する可能性がある。

【前期】

- 1回目 オリエンテーション、参考資料の配付、文章・談話の分析とは
- 2回目 レジユメの作成・発表の仕方について、発表担当者の決定
- 3回目 分析の紹介
- 4回目～13回目 受講生による発表・質疑・討論
- 14回目 日本語学のレポートの書き方について
- 15回目 前期のまとめ

【後期】

- 16回目～20回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 21回目～24回目 データセッション
- 25回目～29回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 30回目 まとめ

評価

平常点・討論への参加・演習への貢献度(20%)発表(30%)夏季レポート(20%)学年末レポート(30%) 6

0点以上を合格とする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】高崎みどり・立川和美編(2008)『ここからはじまる文章・談話』ひつじ書房

【参考図書】適宜紹介する

科目名	日本文学史（近現代）		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

明治から昭和にかけての小説を中心とする文学史講座です。教科書の内容を基本としながら、さらに専門的な事柄を、パワーポイントを用いて講義します。教養として知っておきたい作家や作品を紹介しながら、それらの時代背景、メディアの仕組み、文壇形成の条件など、「文学史」を多角的に学ぶことを目的としています。一般常識として必要な事項を知り、覚えることを学修目標とします。

内容

1	概説
2	近世から近代へ
3	近代化のための、さまざまなプログラム
4	浪漫主義
5	日清戦後文学
6	言文一致体の確立
7	自然主義
8	日露戦争と漱石・？ 外
9	学閥と雑誌の時代
10	早稲田ジャーナリズム～大正3年を中心に～
11	映画『華の乱』
12	映画『華の乱』（承前および解説）
13	モダニズム
14	危機をはらんだ時代
15	総括

評価

平常点（50％）、学期末のペーパーテスト（50％）。合計60％以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

秋山虔・三好行雄編『ビジュアル解説 原色シグマ新日本文学史』（文英堂）ISBN4-578-91080-6

その他、毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	古代文学論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

日本文学・日本文化に関する専門選択科目の講義の一つです。日本の文学史（古代・中古）、物語文学論、民俗文化論と関連します。

この講義では『古事記』上巻を読み、その神話的世界を探索します。八世紀に編纂された『古事記』は、基本的には古代天皇制を保証するテキストですが、そこにはさまざまな種類の神話が組み込まれています。それぞれの神話について歴史学、民俗学、考古学などの成果を踏まえつつ、神話的想像力の働き方を考え、『古事記』の神話的世界の特質を把握していきます。あわせて日本古代の精神世界や社会のありようについても理解を深めます。

内容

- （ 1 ）古事記の神話を読む意義
- （ 2 ）神話とは何か
- （ 3 ）古事記と日本書紀
- （ 4 ）古事記のコスモロジー
- （ 5 ）世界のはじまり
- （ 6 ）火の起源の神話
- （ 7 ）黄泉国訪問
- （ 8 ）三貴子誕生
- （ 9 ）天石屋戸籠り
- （ 10 ）オホゲツヒメと死体化生
- （ 11 ）因幡の白ウサギ神話
- （ 12 ）根之堅洲国訪問
- （ 13 ）国譲り神話
- （ 14 ）天孫降臨と海神国訪問
- （ 15 ）まとめと確認

講義の内容や順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

試験またはレポート70%、授業内での提出物・小レポートなど30%の割合です。六割以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示（『古事記』テキストのうち授業に最適なものを選定する）。

科目名	物語文学の世界		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

平安時代に出現した仮名散文による初めての文学作品が物語です。『竹取物語』に始まる物語文学は、『源氏物語』に至って文学史上最高とも言える位置に至りました。1000年もの間、時代を超えて伝えられ、現代にも読み継がれている物語文学を取り上げ、学びます。

日本を代表する物語文学といえば、なにはともあれ『源氏物語』でしょう。物語の概要を把握した上で、部分的に原文を鑑賞しながら、限られた授業時間の中で、できるだけ作品に触れるようにします。永遠の古典を、原文を味わいながら一緒に読んでいきましょう。

『源氏物語』が時には映画や漫画や宝塚歌劇など様々なメディアを通して現代に受け入れられているのは、人間の心の真実が時代を超えて伝わってくるからです。それこそ作者紫式部がこの物語を書いた目的でした。受講生は授業を通して紫式部の思いをとらえてみてください。それは、各自の人生観を見つめ直す契機になることと思います。

内容

使用するテキストは、物語中のいくつかの場面をピックアップしながら全体の概要がわかる形になっています。以下、物語の筋に沿って、各時間の授業内容を書いておきます。

- 1 ガイダンス
- 2 作者について
- 3 作品の概要
- 4 物語の始まり(桐壺巻)
- 5 光源氏の誕生(桐壺巻)
- 6 雨夜の品定め(帚木巻)
- 7 中流女性との恋(空蝉巻・夕顔巻)
- 8 紫のゆかり(若紫巻)
- 9 禁断の恋(紅葉の賀)
- 10 車争い(葵巻)
- 11 生霊出現(葵巻)
- 12 須磨退居(須磨巻)
- 13 明石の君(明石巻)
- 14 光源氏の栄華(初音巻)
- 15 前期まとめ
- 16 玉鬘との出会い(玉鬘十帖)
- 17 玉鬘の結婚(玉鬘十帖)
- 18 第1部から第2部へ
- 19 女三宮降嫁(若菜上巻)
- 20 柏木の恋(柏木巻)
- 21 薫の誕生(柏木巻)
- 22 落葉の宮の不幸(夕霧巻)
- 23 紫の上の死(御法巻)
- 24 光源氏の最後(幻巻)
- 25 第3部の始まり
- 26 宇治の姫君(橋姫巻)
- 27 大君の死(総角巻)
- 28 浮舟の登場(浮舟巻)
- 29 浮舟の入水と出家(浮舟～夢浮橋)
- 30 総まとめ

評価

前期の終りにレポート、後期の終りにペーパーテストを課します。

平常点40点、ペーパーテストとレポート60点で、60点以上を合格とします。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】ピギナーズクラシックス日本の古典『源氏物語』角川書店編

【参考図書】『源氏物語』の参考文献はとてたくさんあるので、授業で適宜紹介します。

科目名	中古文学論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

中古文学とは平安時代の文学です。平安時代は王朝文化が最も栄えた時代であり、有能な女流作家が多く生まれました。彼女たちはなぜこの時代に作家となり、何を書き残したのか、それを学んでいきます。

平安時代の代表的な女流文学の一つ『枕草子』を取り上げます。「春はあけぼの」で有名な清少納言の作品です。短くてテンポの良い文体、作者の繊細で鋭い観察眼には現代人も驚き、共感をいただきます。また、そこに綴られた中宮定子の逸話は後宮文化の象徴として輝いています。まず、『枕草子』の原文を読んで作品を耳で味わいます。そして、周辺資料から作品に書かれていない歴史的背景を探ることによって、より深く『枕草子』を知ります。時には清少納言になったつもりで現代版の類集段創作を試みてみます。

『枕草子』は和歌でも物語でもない、まったく新しい形態の作品です。このような作品がなぜ生まれたのか、その理由を作者の側と時代背景から探っていくのがこの授業のねらいです。授業を受けた後に、これまで知っていたものとば別の『枕草子』の世界を垣間見てほしいと思います。

内容

作者清少納言が宮仕えに入り、中宮定子や同僚の女房たちと交流を深めていった年月にそって、日記的章段と呼ばれる章段を取り上げて読んでいきます。また、季節の風物を観察した随想段、人間観察が鋭い類聚段なども適宜取り上げ、一年間の授業を通して枕草子の全体像がとらえられるようにしたいと思います。

1 ガイダンス	16作者について
2 作者について	17作品について
3 作品について	18時代背景について
4 作品講読	19作品講読
5 作品講読	20作品講読
6 作品講読	21作品講読
7 作品講読	22作品講読
8 作品講読	23作品講読
9 時代背景について	24作品講読
10作品講読	25作品講読
11作品講読	26作品講読
12作品講読	27作品講読
13作品講読	28作品講読
14作品講読	29歴史資料からの補充
15前期まとめ	30一年間の総まとめ

評価

前期、後期共にペーパーテスト、またはレポート課題を行い、レポート40点、ペーパーテスト40点、平常点20点で評

値し、総合60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【推薦書】いずれも開講後に指示する。

科目名	中世文学論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

『徒然草』の読解を通して、日本の古典文化のおもしろさ・奥深さを学ぶ授業です。『徒然草』には、現代に通じる興味深い話題が数多く載っています。毎回それらの話題に関連して、質問形式のミニペーパーを記入してもらいます。みなさんの回答を手がかりに、兼好と自分がどのように重なり、どのように異なるのかを具体的に考えていきます。

前期は、兼好の生涯をたどりながら『徒然草』の特徴的な章段を読み進めます。

『徒然草』や和歌の魅力を理解し、古典文学を今に息づく作品として読む力を身につけます。

内容

前期 第1回 兼好法師って、どんな人？

第2・3回 なぜ兼好は引きこもったのか？ - 兼好の人生と和歌

第4回 『徒然草』って、何？

第5回 『徒然草』を読む - 序段「つれづれなるままに……」

第6・7回 こんな友達いたらいいのに

第8・9回 こんな家なら住んでみたい

第10回 がっかりすること

第11・12回 女ってやつは…

第13・14回 平安貴族にあこがれて

第15回 前期まとめ

後期 第16・17回 結婚とか子どもとか

第18・19回 昔はよかった

第20～22回 お坊さんの秘密の話

第23・24回 都会と田舎

第25・26回 旅に出ると

第27・28回 理想の人

第29回 後期のまとめ

第30回 一年のまとめ

評価

平常の受講態度(10点)・授業中に提出する課題(30点)・ペーパーテスト(60点)によって、総合的に評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】稲田利徳編『校注徒然草』(和泉書院)

科目名	近世文学論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間はなぜ旅にあこがれ出てゆくのでしょうか？<人間にとって旅とは何でしょうか？>あなたはどんな時に、日本の、世界の、宇宙の、他次元の、何処へ旅に出てみたいですか？比較文化的な視座から西洋と東洋のさまざまな旅の軌跡をたどってみましょう。巨視的な視野のなかで、<西洋と東洋の旅の文学>、また<芸術にとって旅とは何か？>を考えながら、楽しく読んで行きましょう。

日本の近世(江戸時代)には、<泰平の世>において多くの紀行文が書かれ、『国書総目録』によると数千の膨大な紀行文があります。女性たちの温泉紀行も書かれ、上田秋成は家に居ながらにして架空紀行『去年の枝折』を書きました。そして、西行にあこがれながら芭蕉は5つの紀行文を書きました。<「おくのほそ道」は、一つの大きな詩である>とも言われています。芭蕉はどんなオリジナルな紀行文を表現したのでしょうか。

それに対して、ゲーテは『イタリア紀行』を、セルバンテスは『ドンキホーテ』を書きました。海外の旅を素材とした紀行芸術を鑑賞することにより、日本の近世の芭蕉の紀行文の固有の想像力を考えてみましょう。

内容

1	<序 詩にとって旅とは何か・西洋と東洋の旅の文学>
2	サン・テグジュペリ『星の王子様』
3	ゲーテ『イタリア紀行』
4	セルバンテス『ドン・キホーテ』
5	スウィフト『ガリバー旅行記』と宮崎駿『天空のラピュタ』
6	<日本の紀行文学>
7	日本の紀行文学の概要
8	『土佐日記』『徒然草』
9	『東海道中膝栗毛』と『西洋道中膝栗毛』
10	<松尾芭蕉の紀行文> ギャグ・マンガ日和とカノン化
11	松尾芭蕉の生涯と『おくのほそ道』の成立
12	『おくのほそ道』各章段
13	登場人物・自然描写・雅と俗
14	全体の構成
15	深川芭蕉記念館・江戸資料館・京都芭蕉庵などの紹介

評価

評価は、平常点(20点)レポート(80点)を合計し、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】 頼原退蔵・尾形竹訳注『新版おくのほそ道』(角川ソフィア文庫)

その他、各紀行文については、プリントを配布する。また、参考文献は、授業で紹介する。

科目名	幻想文学論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日本文学に関する専門選択科目の講義の一つです。近現代文学論や民俗文化論と関連します。

みなさんは「幻想文学」と聞いてどのような文学作品を思い浮かべますでしょうか。荒涼とした古城に夜な夜なあらわれる亡霊、異世界からの来訪者、現実とは思えない幻想的なモノたちをめぐる物語……。もっとも「文学」を人間の観念による営みと考えれば、「文学」はなにがしかの幻想に基づいているということもできます。「幻想」とはどのようなものをさすのでしょうか。

この講義では、「幻想文学」とはどのような特徴を持つ文学なのか、を考えながら、幻想文学の作品を読み解きます。具体的には、西洋的な近代小説とはやや遠いところに位置づけられる、声や身体による伝承と深くつながりを持ち、民俗的な想像力を豊かな土壌として生み出されたと考えられる文学作品を扱います。

近代的な文学概念をふまえ、文学史的な幻想文学の位置づけを理解し、民俗的想像力と近代の文学の関係を把握することが学修目標です。

内容

- (1) 文学と民俗学と想像力
- (2) 幻想文学とは何か（その一）
- (3) 幻想文学とは何か（その二）
- (4) 日本の幻想文学の系譜（その一）
- (5) 日本の幻想文学の系譜（その二）
- (6) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い（その一）
- (7) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い（その二）
- (8) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語（その一）
- (9) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語（その二）
- (10) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓（その一）
- (11) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓（その二）
- (12) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (13) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (14) 近代文学と民俗的想像力
- (15) まとめ

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

評価

レポートまたは試験 6 割、授業時の小レポート・提出物など 4 割の配分で評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。

科目名	児童文学		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

遙かなたの子どもの日々の、お気に入りの場所で貴女はどんなおとぎ話や紙芝居を楽しんだろう。小澤俊夫氏は『昔話入門』のなかで、「人間存在の真相を示す昔話」とその本質を述べている。また、マックス・リュートィは、ヨーロッパの昔話について、「昔話はどんな材料でも簡潔にまとめ、純化してしまう様式形態をもった含世界性の冒険物語である」と語っている。さあ、もう一度子ども時代に親しんだ日本のおとぎ話や世界の昔話を、楽しく研究してみよう。

日本のおとぎ話の源流は、中世文学のお伽草子で、その本文を味わってみたい。そして、現代の本文と比較・分析してみよう。また、紙芝居は、日本のオリジナルな文化である。タイにも文化輸出され、タイでも紙芝居が作られている。昭和初期から戦争中の紙芝居で、所蔵品を鑑賞し考究してみる。ヨーロッパや、アジア各地の児童文学を鑑賞してゆきたい。

最終目標としては、<おとぎ話や紙芝居の研究>とともに<朗読><創作>も行いたい。パフォーマンスをいかに自然に行うかも学びたい。アジアや世界の子どもたちの文化を、現代のVTRやDVDで、リアルタイムに味わってみる。民族の根幹に触れる個性を考えたい。

内容

1	序 世界の昔話 美智子さま『橋をかける』講演記録
2	<日本の御伽草子・日本の昔話・現代のおとぎ話>の比較
3	一寸法師・鉢かづき・物くさ太郎など
4	<世界の昔話・童話>
5	グリム兄弟とグリム童話
6	ペローの作品
7	アンデルセン童話
8	<日本の紙芝居の歴史と実演>
9	第二次世界大戦中の作品からアンパンマンまで
10	<世界の創作童話>
11	不思議の国のアリス
12	オズの魔法使い
13	<朗読レッスン>OGゲスト(声優)
14	<課外授業>国際子ども図書館見学
15	まとめ

評価

評価は平常点(20点)、レポート(80点)で行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業中にプリントを、毎回配布する。

【推薦書】小澤俊夫編著『昔話入門』（1997年、ぎょうせい）

【参考文献】ロジェ・カイヨワ著、多田・塚崎訳『遊びと人間』（1990年、講談社学術文庫）

市古貞次校注『御伽草子（上・下）』（1985・86年、岩波文庫）

科目名	おとぎ話と紙芝居		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

遙かなたの子どもの日々に、お気に入りの場所で貴女はどんなおとぎ話や紙芝居を楽しんだろう。小澤俊夫氏は『昔話入門』のなかで、「人間存在の真相を示す昔話」とその本質を述べている。また、マックス・リュートィは、ヨーロッパの昔話について、「昔話はどんな材料でも簡潔にまとめ、純化してしまう様式形態をもった含世界性の冒険物語である」と語っている。さあ、もう一度子ども時代に親しんだ日本のおとぎ話や世界の昔話を、楽しく研究してみよう。

日本のおとぎ話の源流は、中世文学のお伽草子で、その本文を味わってみたい。そして、現代の本文と比較・分析してみよう。また、紙芝居は、日本のオリジナルな文化である。タイにも文化輸出され、タイでも紙芝居が作られている。昭和初期から戦争中の紙芝居で、所蔵品を鑑賞し考究してみる。ヨーロッパや、アジア各地の児童文学を鑑賞してゆきたい。

最終目標としては、<おとぎ話や紙芝居の研究>とともに<朗読><創作>も行いたい。パフォーマンスをいかに自然に行うかも学びたい。アジアや世界の子どもたちの文化を、現代のVTRやDVDで、リアルタイムに味わってみる。民族の根幹に触れる個性を考えたい。

内容

1	序 世界の昔話 美智子さま『橋をかける』講演記録
2	<日本の御伽草子・日本の昔話・現代のおとぎ話>の比較
3	一寸法師・鉢かづき・物くさ太郎など
4	<世界の昔話・童話>
5	グリム兄弟とグリム童話
6	ペローの作品
7	アンデルセン童話
8	<日本の紙芝居の歴史と実演>
9	第二次世界大戦中の作品からアンパンマンまで
10	<世界の創作童話>
11	不思議の国のアリス
12	オズの魔法使い
13	<朗読レッスン>OGゲスト(声優)
14	<課外授業>国際子ども図書館見学
15	まとめ

評価

評価は平常点(20点)、レポート(80点)で行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業中にプリントを、毎回配布する。

【推薦書】小澤俊夫編著『昔話入門』（1997年、ぎょうせい）

【参考文献】ロジェ・カイヨワ著、多田・塚崎訳『遊びと人間』（1990年、講談社学術文庫）

市古貞次校注『御伽草子（上・下）』（1985・86年、岩波文庫）

科目名	民俗文化論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化に関する専門選択科目の講義の一つです。比較民俗論、日本の宗教文化と関連します。

私たちは最先端の高度情報化社会を生きていますが、一方でお正月には餅を食べ、初詣でに行き、高層ビルを建てる際には地鎮祭をするなど、昔からやっているからと何気なく行っていることがたくさんあります。このように繰り返される伝統的な生活習慣や意識を探るのが 民俗学 といつてよいでしょう。したがって民俗学を学ぶことは私たち自身のありかたを見つめ直すことでもあります。この授業では、総論として日本民俗学の理論と方法のおおよそを学び、さらにその成立と展開について、日本民俗学の生みの親柳田国男の生涯と思想の問題と関連させながら考えて行きます。

民俗学の学問としての基礎として、その対象・方法・目的を理解することが学修目標です。

内容

- (1) 身近にある民俗・民俗学の魅力
- (2) 民俗学的発想について
- (3) 民俗 という語
- (4) 民俗 の中身・範囲
- (5) 常民 と 常民性
- (6) フィールドワークとデスクワーク
- (7) 重出立証法と方言圏論
- (8) 日本の祭りと神
- (9) 民俗と映像
- (10) 柳田国男と日本民俗学の生成
- (11) 民俗学以前(他界への願望と経世済民の志向)
- (12) 民俗学の胎動(異族としての山人)
- (13) 民俗学の確立(稲と常民のいる日本)
- (14) 折口信夫の学問
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

筆記試験 7 割、レポート・提出物など 3 割、60 点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。読書レポートの対象はできるだけ購入して下さい。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

参考文献：民俗学の概論書としては、柳田国男『郷土生活の研究法』（ちくま文庫『柳田国男全集』）、柳田国男・関敬吾『日本民俗学入門』（復刊・名著出版）、和歌森太郎『日本民俗学』（弘文堂）、上野和男他編『民俗研究ハンドブック』（吉川弘文館）、福田アジオ他編『日本民俗学概論』（吉川弘文館）など。そのほか参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	日本の宗教文化		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化・思想に関する専門選択科目の講義の一つです。民俗文化論、精神文化論、日本文学特講などに関連します。

現在、「モノケ」という言葉は、妖怪全般をさすものとしてよく使われていますが、日本の古代においては、神霊や精霊、妖怪、魔物などはひっくるめて「モノ」と呼ばれていまさいた。万葉集では「鬼」という漢字を「モノ」と訓じてもいます。こうした超自然的存在はときに「タタリ」というかたちで、人間に災厄をもたらしたり、霊異を体験させたりしました。古代の人々はそれを畏怖し、占いや祭祀などのさまざまな手段で交渉してきたのです。この授業では古代の神話・説話・史書などのなかにあられたそうした交渉を読み解き、「モノ」たちとともに生きた人々の精神構造をさぐります。

日本の古代における「もの」「もののけ」の諸相を把握し、それらを生み出した人々の精神構造を理解することが学修の目標です。

内容

- (1) もののけをめぐる文化現象
- (2) 神と妖怪
- (3) 古代の神霊観 タマ・カミ・モノ
- (4) ト占・託宣・夢 神霊世界との交信
- (5) オオモノヌシ 神婚幻想と巫女
- (6) 崇りなすアマテラス
- (7) 病気と鬼の気
- (8) 死者の霊と語り
- (9) 亀トと怪異
- (10) 自然開発と崇り
- (11) 王権・神祇官・陰陽寮
- (12) 『今昔物語集』の霊鬼たち
- (13) 鬼に化す女たち
- (14) いざなぎ流 民俗社会の占いと祈祷
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

筆記試験(またはレポート) 7割、レポート・提出物など3割、60点以上を合格とします。
合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。

参考文献：小松和彦『憑霊信仰論』(講談社学術文庫)、馬場あき子『鬼の研究』(ちくま文庫)、西郷信綱『古代人と夢

』(平凡社ライブラリー)、斎藤英喜『いざなぎ流 祭文と儀礼』(法蔵館)、岡部隆志ほか『シャーマニズムの文化学』(森話社)など。その他参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	日本の歴史		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目はコース選択科目(専門教育科目)である。

科目の概要

本科目は、日本社会の歴史について学ぶものである。今年度は、とくに「現代史」に焦点を当てて授業を構成する。主に「昭和史」を概観し、世界と日本がどのような関係を持ってきたのか、満州事変以降の「大東亜戦争」の本質は、何だったのかを考察する。貴重な記録映像を活用し、視聴覚的なアプローチを試みる。

学修目標

本科目の学修目標は、以下のとおりである。昭和史の概要について理解することができる。映像視聴を通して理解を深化させることができる。現代史について自分の見解をまとめることができる。

内容

1. 「昭和」という時代のはじまり
2. 昭和恐慌と満州事変の勃発
3. 不安な時代と大衆文化の動向
4. 対中国戦争の本格化
5. 日中戦争と戦時体制の強化
6. 庶民文化の統制 学問・思想への弾圧
7. 太平洋戦争と破局への道
8. 第二次世界大戦の勃発と欧州の情勢
9. 初期「太平洋戦争」 真珠湾への道 マレー半島攻略 大東亜共栄圏構想
10. ガダルカナル島の戦闘 中部太平洋での失策と無謀な戦線拡大
11. インパール作戦の実態
12. サイパン島陥落に至る諸問題
13. 硫黄島・沖縄の「玉砕」とポツダム宣言受諾への道程
14. 連合国(アメリカ主体)による「占領政策」と日本文化の動向
15. まとめ

評価

視聴カード30点、レポート20点、筆記試験50点の配点で、合計60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 使用しない。授業中に随時プリントを配布する。

【参考図書】 岩波新書、講談社現代新書などに関連図書が多数刊行されている。また、高等学校で使用した「日本史」の

文部科学省検定済み教科用図書は重要な資料となる。

科目名	書物の文化		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんは「本」というと、どのようなものを思い浮かべますか？ほとんどの人が、いま一般に書店で並んでいるような、活字の印刷された書籍を想像したのではないのでしょうか。しかし、このような活字による印刷本は明治時代以後に広まったもので、江戸時代には版木に文字を彫って刷った「版本」がほとんどでした。さらに、室町時代以前には、筆と墨によって一冊一冊を写し書きした「写本」が書籍の基本でした。本講義では、「写本」や「版本」の種類・仕組み・装丁・紙・文字・取り扱い方法など、書物をめぐる歴史や文化を幅広く学びます。

内容

前期

- 第1回 和本とは何か？
- 第2回 書物の起源
- 第3～5回 和本の製法と種類
- 第6回 糊でつくる和本(実習)
- 第7回 和本の綴じ方
- 第8・9回 糸で綴じる和本(実習)
- 第10～12回 和紙の装飾
- 第13・14回 装飾料紙をつくる(実習)
- 第15回 前期まとめ

後期

- 第1～4回 書誌調査の基礎知識
- 第5・6回 書誌調査(実習)
- 第7回 和本の補修(実習)
- 第8～13回 変体仮名を読む
- 第14回 変体仮名を書く(実習)
- 第15回 後期まとめ

評価

平常の受講態度(10点)・授業中に提出する課題(40点)・学期末試験(50点)により総合的に評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】笠間影印叢刊刊行会『字典かな 出典明記 改訂版』(笠間書院)

科目名	中国文学		
担当教員名	田中 正樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格

本科目は、教員の免許状（中学校教諭二種免許状「国語」）取得のための必修科目である。漢字熟語の基本構造でもある漢文の基礎が身につくように、易しい短編の漢文をテキストとして用い、漢文の構造、訓読という翻訳システムに関する基本的考え方を学ぶ。日本語と古典中国語（漢文）との文法の違いを訓読法の学習を通して理解するに際し、日本語の文語文法の知識も重要になる。漢文の内容の理解と「ことば」としての漢文の理解は、日本語・日本文化の更なる理解へとつながることを意識し、「古典」を学ぶ現代的意義についても考える場とする。

科目の概要

この授業では、日本文学にも大きな影響を与えた中国の古典小説の中から、読みやすい短編作品を少しずつ取り上げ、その多様な世界を原文（漢文）を通して味わいつつ、漢文の基礎を身につける。

比較的易しく短い漢文をテキストとし、留意すべき漢文の構造や語法について解説を加えつつ、白文・訓読・現代語訳の関係を学ぶ。

学修目標

必ずしも「漢文」の知識が十分でなくても参加できるようにするが、配布するテキスト（プリントを用意）に基づいて予習（語句調べや訓読の作成、返り点をつけるなどの作業）し、授業で解説した語法などについてはきちんとノートを作成し、理解・記憶できるまで復習してほしい。

内容

1	「漢文」とは何か。（「漢文」の意味、漢文翻訳システムとしての「訓読法」について）
2	漢文の構造。（熟語の成り立ちと漢文法）
3	「志怪」（中国の怪談）を読む （返り点の仕組み。原文と訓読の関係）
4	「志怪」を読む （返り点をつけてみよう。）
5	「志怪」を読む （実字と虚字について）
6	「志怪」を読む （「再読文字」について：種類と意味。なぜ二度よむのか。）
7	「志怪」を読む （疑問・反語の語法）
8	中国文学について （中国文学簡史：詩・詞・曲・小説）
9	「志怪」を読む （受動態の語法）
10	「志怪」を読む （受動態の語法）
11	「公案小説」（中国のミステリー）を読む （使役の語法）
12	「公案小説」を読む （接続詞の種類）
13	「公案小説」を読む （その他の語法。「所以」など）
14	「公案小説」を読む （その他の語法。「所以」など）
15	理解度の確認

評価

試験（60％）、授業態度（授業内での受け答えを含む：40％）、三分の二以上出席することで評価を受けることができる。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストはプリントを配布。

漢和辞典は必ず毎回授業に持ってくること。

漢和辞典は、戸川芳郎監修／佐藤進・濱口富士雄編『全訳 漢辞海（第三版）』（三省堂）など。

科目名	比較文化論		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、フランス出身の日本学者・俳人・エッセイストである担当教員と共に、東西の詩歌（俳句、西洋詩、民謡、国際ハイク等）を具体的に扱い、日本詩歌と西洋詩との相違点・共通点を検証してゆく。同時に、文化論への広がりを目差し、日本文化全般にみる特質、あるいは普遍性を再発見してゆく。

内容

前期では授業の一角として担当教員の自伝的エッセイ「青眼句日記」（『一茶とワイン』、角川書店）を読み、後期では短編小説や俳句の実作指導も行います。また、ビデオを使ってオペラ、バレエ、短編映画などを参考資料にします。

前期 1：序説として、“余情的文化”（日本）と“叙情的文化”（欧米）の相異 2：海外連句批評、連句にみる日本文化の特質 3：江戸時代の日本文化とバロック・ローマン派芸術論、近代性とは何か？ 4：一茶の笑い、ベルグソンの「笑い理論」に基づいて 5：俳諧史にみる身分制度の歴史、フランスとの比較 6：ジェンダーと東西の文学 7：ポール・クローデルについて、西洋詩における「余情性」の可能性 8：詩歌における音韻の問題 9：日本文化における「聴覚」 10：日本文化におけるアニミズム的感性とエコロジーの問題 11：日本文化における「嗅覚」 12：西洋における日本文化の受容、文化間の対話をどのようにすすめるべきか？ 13：アラブ文化史、アジア諸文明における時間意識再考 14&15：まとめ

後期 1：「エスプリ」と「笑い」の違い、連句にみる「エスプリ」 2：現代俳句における古典（カノン化）と国際化の問題 3：諸国の民謡にみる普遍的な感性について 4：農村生活にみる普遍的な感性（葡萄酒の歴史、「風土の味」（terroir）とは何か？） 5：白鳥処女伝説、チャイコフスキー『白鳥の湖』を中心に 6：白鳥騎士伝説、ワグナー『ローエングリン』を中心に 7：農村におけるアニミズムとエコロジーの関係 8：十九世紀フランスの女性史（G・サンドを中心に） 9：幼児文学、子供俳句の国際化について 10～14：俳句の実作指導（句会） 合同句集作成 15：まとめ

評価

前期の終わりに、授業内容に基づくレポート（小論文）を課す。テーマの扱い方、構成（起承転結と論理性）、独創性を総合的に評価する。後期では口答試験と実習を行います。

前期80%、後期20%で、合格は100点満点のうち60点以上とする。出席は授業回数の3分の2を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】マブソン青眼著『一茶とワイン - ふらんす流俳諧の楽しみ』（角川書店・2006）

【推薦書】マブソン青眼著『江戸のエコロジスト一茶』（角川書店・2010）

マブソン・ローラン著『詩としての俳諧、俳諧としての詩』（永田書房・2005）

科目名	比較民俗論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化に関する専門選択科目の講義の一つです。民俗文化論、日本の宗教文化と関連します。

五月五日の端午の節句、十五夜のお月見などの年中行事、あるいは綱引き行事や仮面をつけた神が訪れる儀礼、あるいは納豆や餅を食べることなど、日本独自の民俗や文化と思いついておられることがありますが、実は琉球諸島や朝鮮半島、あるいは中国内陸部などにも存在することが意外に多くあります。この講義では、視野を広げて東アジア世界(環東シナ海文化)の民俗として捉え直すことで、日本の民俗や文化の成り立ちについて考えます。

日本の民俗と東アジア世界の民俗との共通性と差異性について把握し、日本の文化の複合的な成り立ちを理解することが学修の目標です。

内容

- (1) 東アジアの中の日本という視点
- (2) 日本 的なもの・ 民俗 について
- (3) 朝鮮半島・中国の民俗学事情
- (4) 年中行事の比較 端午の節句をめぐって
- (5) 月とイモ 八月十五日の民俗
- (6) 綱引き行事 八月十五日の民俗
- (7) 東アジアの綱引き行事
- (8) 東アジアの龍蛇信仰
- (9) 年越しの来訪神
- (10) 南島の訪れるカミ
- (11) ナレズシと納豆の文化
- (12) 中国少数民族と日本の古代文化
- (13) 東アジアの基層文化
- (14) 日本文化の複合的性格
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります

評価

筆記試験7割、レポート・提出物など3割、60点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。読書レポートの対象はできるだけ購入して下さい。

参考文献：佐々木高明『日本文化の基層』(日本放送出版協会)、吉田敦彦『日本神話の源流』(講談社)など。参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	精神文化論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

なぜ人は占いをするのでしょうか。太古の昔から占いは人間の生活に欠かせないものでした。本講義では、占いについて様々な角度から検証し、日本文化における占いの歴史や意義を学びます。占いをめぐる文化事象を考察することで、人間の精神文化に対する理解を深めます。

内容

1	占いて何？
2	動物で占う...太占・亀卜
3	お湯で占う...盟神探湯
4	哲学としての占い...易経・陰陽五行の思想
5	易占の実践
6	陰陽師の占い...式占
7	東洋の星占い...星宿・宿曜道
8	今日は何の日?...暦占
9	外見で占う...観相 1
10	手相は変わる...観相 2
11	様々なおみくじ
12	寺院のおみくじ...元三大師御籤
13	神社のおみくじ...歌占と託宣
14	おみくじの歴史
15	まとめ

評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(20点)、筆記試験(70点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布します。

科目名	メディア・リテラシー		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちはいまどんな時代に生きているのか？ ずばりこんな大それた事を、考えてみたいと思います。といってもむずかしい話ではありません。みなさんの身の回りにある品々から、みなさんと「世界」とのつながりについて確認してみようということ、そして、どうしたら自分らしく生きられるか考えようというのが、この授業のねらいです。

内容

1	授業案内
2	メディアは二つの意味をはこぶ
3	我々は 状況 に囲まれている
4	メディアは意外と業が深い
5	メディアは欠落を付け足す
6	タイアップソングとブーム
7	音楽の肌触り
8	書を捨てよ、街へ出よ
9	外側の忘却
10	愛を映像化する
11	メディアとしての外国語
12	メディア社会と個人
13	メディアと物語
14	身の回りにある物語
15	総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー50点、学期末レポート50点。合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	現代表記		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、文章表現などの授業と関連し、日本語で文章を書く上で知っておくべき、表記の特徴について学ぶことになります。

日本語では、漢字やひらがな、カタカナ、ローマ字など、さまざまな文字を使って文章が書かれています。これは、ほかの多くの国のことばには見られない特徴です。多くの文字を用いるということは、その分、表記のルールは、複雑・多様になります。そして、たとえば「他人事」は、「ひとごと」か「たにんごと」か、「小売業」と「小売り業」はどちらが適当な書き方なのか、といった表記に関する様々な問題が生じてきます。これらの使い分けについて学ぶことは、日本語を使いこなす上で大切な事柄です。

講義では、現代日本語の表記におけるいろいろな問題を取りあげ、日本語の表記の特徴を理解すること、様々なことばの使い分け・書き分けについて、基礎的な理解力を身につけること、などを学修目標とします。

内容

1	日本語の表記の何が問題か
2	日本語の表記の歴史
3	漢字に関する基礎知識
4	当て字について
5	国字(日本で作られた漢字。「峠」「辻」など)
6	同訓異字(「書く」と「描く」、「探す」と「捜す」など)
7	送り仮名について(「備前焼」と書くべきか「備前焼き」と書くべきか)
8	表記のゆれ、ことばのゆれ(「依存」は「いそん」か「いぞん」かなど)
9	ことばの言い換え、書きかえについて(どんな場合に言い換え、書きかえを行うのか)
10	新語と表記
11	ローマ字。外来語の表記
12	和製漢語(日本製の漢語)、和製英語(日本製の英単語)について
13	身の回りにある文字や記号について(看板、道路標識、字幕、商品ラベルなどの表記)
14	表記と校正(文章の直し方を学ぶ)
15	まとめ

評価

各回の課題(50%)、試験(50%)、三分の二以上出席することで評価を受けることができます。合格点に満たなかった場合には、再試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:『新しい国語表記ハンドブック 第6版』(三省堂。税込735円)

参考図書：『新選国語辞典 第9版』（小学館）、『新明解国語辞典 第7版』（三省堂）

その他必要に応じて、随時教室で紹介する。

科目名	日本語の歴史		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探る。また、現代語から切り離された過去の言語活動として、古い時代のことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていく。

科目の概要

授業は講義を基本とし、日本語の成立において重要とされる内容を理解する。また、各種資料の具体的な検討を通して、日本語学的な資料の扱い方にも触れる。

学修目標

日本語の成り立ちについて関心を持ち、ことばの変化を理解することを目標とする。

内容

授業中に確認テストを実施します(3,4回の予定)。授業中に示される重要項目はきちんと復習しておきましょう。

1	ガイダンス
2	日本語の歴史を学ぶ意味
3	奈良時代の日本語
4	〃
5	平安時代の日本語
6	〃
7	鎌倉・室町時代の日本語
8	〃
9	江戸時代の日本語
10	〃
11	明治時代の日本語
12	〃
13	近代語から現代語へ
14	〃
15	まとめ

評価

授業中に実施する確認テスト(40%) 期末テスト(60%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】山口仲美(2006)『日本語の歴史』(岩波新書)岩波書店

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	漢文学を読む		
担当教員名	田中 正樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、教員の免許状(中学校教諭二種免許状「国語」)取得のための必修科目である。漢字熟語の基本構造でもある漢文の基礎が身につくように、易しい短編の漢文をテキストとして用い、漢文の構造、訓読という翻訳システムに関する基本的考え方を学ぶ。日本語と古典中国語(漢文)との文法の違いを訓読法の学習を通して理解するに際し、日本語の文語文法の知識も重要になる。漢文の内容の理解と「ことば」としての漢文の理解は、日本語・日本文化の更なる理解へとつながることを意識し、「古典」を学ぶ現代的意義についても考える場とする。

科目の概要

この授業では、日本文学にも大きな影響を与えた中国の古典小説の中から、読みやすい短編作品を少しずつ取り上げ、その多様な世界を原文(漢文)を通して味わいつつ、漢文の基礎を身につける。

比較的易しく短い漢文をテキストとし、留意すべき漢文の構造や語法について解説を加えつつ、白文・訓読・現代語訳の関係を学ぶ。

学修目標

必ずしも「漢文」の知識が十分でなくても参加できるようにするが、配布するテキスト(プリントを用意)に基づいて予習(語句調べや訓読の作成、返り点をつけるなどの作業)し、授業で解説した語法などについてはきちんとノートを作成し、理解・記憶できるまで復習してほしい。

内容

1	「漢文」とは何か。(「漢文」の意味、漢文翻訳システムとしての「訓読法」について)
2	漢文の構造。(熟語の成り立ちと漢文法)
3	「志怪」(中国の怪談)を読む (返り点の仕組み。原文と訓読の関係)
4	「志怪」を読む (返り点をつけてみよう。)
5	「志怪」を読む (実字と虚字について)
6	「志怪」を読む (「再読文字」について:種類と意味。なぜ二度よむのか。)
7	「志怪」を読む (疑問・反語の語法)
8	中国文学について (中国文学簡史:詩・詞・曲・小説)
9	「志怪」を読む (受動態の語法)
10	「志怪」を読む (受動態の語法)
11	「公案小説」(中国のミステリー)を読む (使役の語法)
12	「公案小説」を読む (接続詞の種類)
13	「公案小説」を読む (その他の語法。「所以」など)
14	「公案小説」を読む (その他の語法)
15	理解度の確認

評価

試験（60％）、授業態度（授業内での受け答えを含む：40％）、三分の二以上出席することで評価を受けることができる。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストはプリントを配布。

漢和辞典は必ず毎回授業に持ってくること。

漢和辞典は、戸川芳郎監修／佐藤進・濱口富士雄編『全訳 漢辞海（第三版）』（三省堂）など。

科目名	書を楽しむ		
担当教員名	鈴木 慈子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

一年必修科目「基礎書道」では、主に中国唐時代までの漢字の臨書を行いました。現在使われている日本語の表記は、漢字・ひらがな・カタカナにアルファベットも加わり、実に多岐にわたって他国に類を見ません。本科目は、すでに学んでいる漢字の臨書に加え、日本独自の「かな文字」の成り立ちに触れるところからスタートします。

かな文字の隆盛を極めた平安時代の古筆を臨書し、字形や線の美しさを学びます。筆を持つことと並行して、変体かなを読むようになってほしいと思います。さらに、「漢字」「かな」の古典の勉強で得られた基礎力を土台に、現代のことばを表現する「漢字かな交じりの書」にも挑戦していきます。心に響くことば、自分で詠んだ詩歌、好きなミュージシャンの詞などを「生きた線」で表現できたら、こんなすばらしいことはありません。「漢字かな交じりの書」は手本となる古典が存在しないため、学ぶのが難しい分野です。みなさんの若い感性で、あらたな書の歴史を拓いてほしいと願い、取り組むことにしました。

卒業年度を意識し、記念に残るような思い入れの深い作品づくりを目指し、助言をしたいと考えています。

内容

(前期)

1. 前期授業の進め方・かな書道の用具について・かな文字の歴史
2. 「いろは」解説・練習
3. 「いろは」清書・提出
4. 「変体かな」解説・練習
5. 「変体かな」清書・提出
6. 高野切第三種臨書 「連綿」解説・練習
7. 「連綿」清書・提出
8. 高野切第三種臨書 「原寸」一枚目提出
9. 高野切第三種臨書 「原寸」二枚目提出
10. 高野切第三種臨書 「原寸」三枚目提出
11. 特徴ある楷書「造像記」の臨書 清書・提出
12. 特徴ある草書「争座位稿」の臨書 清書・提出
13. 漢文の読み下し文を書く。(漢字かな交じり文への展開)
14. 桐華祭出品作品の構想を練る。
15. 前期のまとめ・桐華祭出品作品の練習

(後期)

1. 後期授業の進め方・桐華祭作品準備
2. 桐華祭出品作品制作
3. 桐華祭出品作品制作
4. 桐華祭出品作品仕上げ
5. 粘葉本和漢朗詠集臨書 原寸一枚目提出
6. 粘葉本和漢朗詠集臨書 原寸二枚目提出
7. 粘葉本和漢朗詠集臨書 原寸三枚目提出
8. 粘葉本和漢朗詠集の読み下し文を書く。(漢字かな交じり文への展開)
9. 条幅作品の構想を練る。桐華祭作品とは異なる題材で。
10. 年賀状の制作

11. 条幅作品練習

12. 条幅作品練習

13. 条幅作品練習

14. 条幅作品仕上げ

15. 一年間のまとめ・条幅作品鑑賞

評価

各課題の清書作品による評価7割、レポート3割、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】久米東邨編著『書道芸術（漢字編）』（萱原書房）（一年生で使用したもの）

適宜プリント配布

科目名	俳句入門		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現在、日本の俳句は国際HAIKUといって、世界の50か国以上で、魅力的な短詩型文学として、各国の言語で作られている。私たちも、新座の自然のなかで、現代の俳句をのびやかに創作してゆきたい。

2012年は、35才という若さでこの世を去った正岡子規の没後110年にあたり、近年はテレビドラマや本や雑誌等、さまざまなメディアでとりあげられている。授業では、最初の数時間で正岡子規以来の明治時代以降の近代俳句の歴史を簡単に学ぶ。また子規と夏目漱石の交友についても触れたい。

句会のやり方をマスターしてゆく。また、連句も巻いてみたい。最終的には、十文字の日本文学専攻の伝統的な句集である「武蔵野集」という作品集にまとめたい。みずみずしく豊かな感性で今を俳句に表現したい。

内容

1	<はじめに> 芥川龍之介『文芸的なあまりに文芸的な』
2	エリオット『詩における三つの声』
3	<近代俳句の歴史> 正岡子規(漱石との交友)
4	<現代の女流俳人> 黛まどか『B面の恋』
5	句会
6	句会
7	句会
8	句会
9	句会
10	句会
11	句会
12	<連句の解説>
13	連句会
14	<GO句会>(学外あるいは学内)
15	まとめ

評価

句会における平常点(20点)、俳句作品(80点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】山本健吉『季寄せ』(文芸春秋社)

【推薦書】東聖子編『BARROCO集』(「連句概説」あり、文學の森)

科目名	ミュージカル論		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

日本でもミュージカルに対する認識が、アメリカやヨーロッパなどと同じく最近変化してきている。

東京では劇場の数も、観劇人口も増え、外国の作品だけでなく、日本のオリジナル作品もたくさん上演されるようになってきている。

本講座では、文学・音楽・舞踊・演劇・美術の総合芸術としてのミュージカルの魅力を探る。オペラが起源といわれ、大衆娯楽文化から芸術文化になるまでの歴史を学ぶ。

特に音楽を中心に研究し、それぞれの時代の特徴を考察することをねらいとする。

また、ミュージカルの作品の中で、原作のあるものを取り上げ、原作と台本、同じような題材との違いを比較研究する。

内容

17Cに始まったオペラから発展していったといわれるミュージカルを、歴史を通して年代別・作品の形態別・作曲者別の傾向を考察したり対比し、分析する。

ひとつのテーマにつき、1～3週で講義を進める予定。

ミュージカルの歴史

1930年代・40年代・50年代・60年代・70年代・80年代・90年代・2000年代

日本のミュージカルの歴史

さまざまなミュージカルの形態について

ミュージカル音楽について（原語の歌詞と日本語歌詞の比較・音の入り方などを研究）

台本・音楽・舞踊などについて代表作品の分析

アメリカの作品について

イギリスの作品について

ヨーロッパの作品について

小説からの作品について

映画からの作品について

日本のオリジナル作品について

まとめ

2～3作品を実際に観劇予定

（今年度は5月ライオン・キング、11月未定）

評価

課題レポート（70%）、通常の授業態度（30%）三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。合格点に満たない場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜に本、プリント、DVD、CDなどを紹介する。

科目名	宝塚研究		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、国語国文の選択科目として開講されている科目です。舞台芸術を通し、日本の文化を学びます。

講義では、創立100周年を迎えようとする、世界に唯一の少女歌劇である宝塚歌劇団の出発期から現在までの歴史的な流れを中心に講義を展開し、音楽表現と身体表現の特質を理解します。また、元タカラジェンヌを特別講師として迎える予定です。

学修目標は、昨今、ミュージカルへの関心が高まり、質の高い作品に接する機会がますます増えてきています。特に、宝塚歌劇は大衆性と芸術性・娯楽性の面に注目し、文藝・音楽・衣装・舞踊・演劇などのさまざまな特質を生かした表現を分析し、考察することをねらいとします。また原作のある上演作品などは、原作本との比較を試みることで宝塚歌劇を理解します。

内容

1	宝塚歌劇とは何か
2	宝塚歌劇の歴史
3	宝塚歌劇の文化と小林一三
4	宝塚歌劇と文学作品
5	宝塚歌劇の作法と常識
6	宝塚歌劇と舞台形式
7	宝塚歌劇のお化粧
8	宝塚歌劇のポスターと経営戦略
9	宝塚歌劇のお衣装(洋物)
10	宝塚歌劇の作品研究
11	宝塚歌劇の音楽表現
12	宝塚歌劇と音楽研究
13	宝塚歌劇のお衣装(和物)
14	宝塚歌劇と原作
15	公演の観劇とまとめ

評価

毎講義に提出するレポート60点、期末試験40点 総合得点が60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】江藤茂博・植木朝子・加藤暁子・清水玲子・日向薫 著『宝塚歌劇団スタディーズ』(戎光祥出版)

科目名	芸術文化論		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1.科目の性格

この科目は芸術文化コースの選択科目(専門教育科目)である。

2.科目の概要

本科目は、思想上における美と芸術に関する論題を、とくに「美学」の視点から眺めてみようとするものである。現代の日常生活の中では「価値」という座標軸がきわめて不透明になっている。本科目では、古今の思想家の「美的価値」についての理論を概観しつつ、「価値」という意味について考察することを試みる。

3.学修目標

本科目の学修目標は、次の3点である。 思想史における「美学」の位置づけを理解することができる。 とくに古典古代における「美学」の基盤にいて理解することができる。 自己の生き方に結びつけて「美学」の意義を捉えることができる。

内容

1. 「美学」という概念について
2. パウムガルテンという思想家の定義
3. 「美を創出すること」という意味と「天才的芸術家」の関係
4. ギリシア哲学における「美」の概念
5. 「カロカガチア」という言葉をめぐって
6. プラトンの「イデア論」と「芸術の創出」という問題
7. 「ミーメーシス」という概念の本質
8. アリストテレスにおける「美」の概念
9. 近現代の「美」の概念
10. カントの『判断力批判』における「美的体験」の分析
11. ベンヤミンの美学
12. 「コピー」、「模倣」そして「写真」という概念
13. 現代人にとっての「美的概念」とは何か
14. 21世紀における「美学」の新たな地平
15. まとめ

評価

レポート50点、筆記試験50点の配点で、合計60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 テキストは使用しない。適宜プリント等を配布する。

【参考図書】

今道友信編著『美学の歴史』（講座・美学の1）（東京大学出版会）

今道友信編著『西洋美学のエッセンス』（ペリカン社）

木幡順三著『美と芸術の理論』（勁草書房）

科目名	演劇論		
担当教員名	藤澤 茜		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題を解明することは、日本の文化、風土、宗教観、国民性などを理解し、私たちのルーツを探ることにもなります。この授業では、能や狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃などの伝統芸能を取り上げ、現代の演劇にどう継承されているかを明らかにし、外国の演劇との比較により日本の演劇の独自性についても検証します。

特に注目するのは歌舞伎です。現代のメディアと同様に社会現象を敏感に反映し、小説や浮世絵、落語等に影響を与えた歌舞伎の検証は、大衆演劇の意義や鑑賞者が演劇に求めた要素の解明の手がかりになります。また神の祭りを起源とするため、信仰と演劇という不可分の問題も検討できると考えます。

科目の概要

主に歌舞伎を取り上げ能や人形浄瑠璃、海外の演劇との比較を交え本質を明らかにします。宝塚やミュージカル、アニメーションにも対象を広げエンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

学修目標

- (1)日本の伝統芸能や演劇、世界の演劇についての基礎知識を学びます。文献調査などのレクチャーを経て、特に興味を持った演劇については各自が検証し、レポートとして提出します。
- (2)絵画資料を通じて歌舞伎の本質を探ります。浮世絵を持参する機会を設け絵画の造詣も深めます。
- (3)ビデオ観賞を通じて、役者の演技、演出、舞台装置等の細かな部分に関しても理解を深めます。

内容

文献、脚本研究のほか、ビデオ観賞、絵画資料からの検証をまじえ視覚的に演劇をとらえて学びます。絵画資料については、主に浮世絵を取り上げます。2008年には浮世絵の検証をもとに元禄時代の上方の舞台復元(プロジェクトには藤澤も参加)が行われ、また歌舞伎の衣装の考証にも用いられるなど浮世絵は資料的な価値が高く、歌舞伎研究には不可欠な資料です。

以下のスケジュールで授業を進めます。

ガイダンス・日本の伝統芸能の流れ

能・狂言の歴史と魅力

歌舞伎の舞台構造を知る～能舞台の模倣時代から現代のコクーン歌舞伎まで

歌舞伎を創る 元禄上方和事復活上演までの軌跡・衣装と浮世絵

市川團十郎と江戸の信仰

歌舞伎と人形浄瑠璃 「義経千本桜」の狐忠信

歌舞伎と話芸 「仮名手本忠臣蔵」と落語

歌舞伎と広告 「外郎売」など

浮世絵に見る歌舞伎 歌舞伎役者の人気を知る

歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演

歌舞伎と海外の演劇(1)京劇(中国)・パンソリ(韓国)等アジアの芸能

歌舞伎と海外の演劇（２）シェイクスピアと蜷川幸雄

海外の演劇 「ロミオとジュリエット」・ミュージカル「ウエストサイド物語」

現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台

現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」と日本文化

評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、レポート70%とし、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。【参考書】開講後に指示。

授業時には毎回プリントを配布します。

科目名	古典芸能の世界		
担当教員名	井上 愛		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

古典芸能・古典文学では、恋に走る女・待つ女・怒る女・惑わす女など、さまざまな「女」が題材にされてきた。みなさんは、どのような「女」が好きだろうか？この講義では、特に男と関わったとき「女」がいかに描かれてきたのかを出発点にして、さまざまな女性像に迫っていきたい。

「女」というテーマのもとで、『源氏物語』『徒然草』などの古典文学、歌舞伎、落語、能・狂言、文楽など、多ジャンルの古典芸能についての知識を得る。なお、一度、国立能楽堂で能と狂言を鑑賞することを計画している。

- 1、平安から江戸時代までのさまざまな「女」についての説話・言説を読み、自分の女性観を養う。
- 2、中世仏教では女性をどのように考えていたか、中世の倫理観や当時の価値観を学ぶ。
- 3、女芸能者たちの姿を通して、さまざまな芸能のジャンルについての知識を得る。

内容

1	ガイダンス
2	現代のヒロイン像とは？～『源氏物語』「雨夜の品定め」と斉藤美奈子『紅一点論』～
3	男を惑わす女たち ～久米仙人の説話、志賀寺上人を惑わす京極御息所～
4	地獄に堕ちた女たち ～紫式部・小野小町・菟原処女(うなひをとめ)伝説～
5	『源氏物語』を書いたから作者紫式部は地獄に堕ちた！？～紫式部墮地獄説話～
6	絶世の美女・小野小町が老いて醜くなったら…。
7	二人の男に求愛されたための悲劇～菟原処女(うなひをとめ)伝説～
8	女芸能者たち～傀儡女(くぐつめ)・白拍子・瞽女(ごぜ)・曲舞女・出雲の阿国～
9	白拍子 ～男装をする女性の魅力～
10	曲舞女 ～中世で大流行したリズム感ある舞～
11	瞽女(ごぜ)～三味線を弾きながら旅する盲目の女たち～
12	出雲の阿国 ～華やかな歌と踊りの世界・歌舞伎創生期～
13	吉原の遊女たち ～聖性が剥がれた女たち・遊女の苦難～
14	吉原の遊女たち ～最大の遊郭街・吉原の女と男の世界に迫る～
15	まとめ

評価

レポート... 50%、各授業の提出物... 30%、授業態度... 20%。60%以上で合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。授業時に適宜プリントを配布する。

科目名	仏教美術		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

仏教に対する信仰から生まれた美術作品について学びながら、日本文化に対する教養を深める授業です。この授業では、仏像を中心として、日本の仏教と美術の関わり合いを明らかにしながら、仏像についての基礎知識を身に付けます。講義にあたっては、画像やVTRなどの視覚的な資料を用いて具体的に理解できるようにします。理解を深める資料として、神仏の登場する文学作品も適宜とりあげていきます。

内容

以下のようなテーマで講義を行います。

第1回 仏教とは？

仏教美術を生み出す母体となった仏教に関する基礎知識を概説します。

第2回 仏教美術とは？

仏教美術とはどのようなものかを概観します。

第3回 仏教美術の発生

仏像をはじめとする仏教美術が作られるようになった背景を概説します。

第4回 仏像の世界

仏像の種類は「如来・菩薩・明王・天」の四種に大きく分けられます。

それぞれの違いを解説しながら、仏教の世界観と仏像の種類について学びます。

第5～7回 如来

第8～10回 菩薩

第11・12回 明王

第13・14回 天

代表的な仏像を鑑賞しつつ、その背後にある信仰や教理、

時代による制作技法の違い等を学びます。

第15回 まとめ

*学外授業として東京国立博物館等へ仏像見学ツアーへ行きます。日程は参加者と相談の上、決定します。

評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(30点)、学期末試験(60点)により総合的に評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストはプリントを用意します。

科目名	日本の芸術理論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

<人間にとって芸術とは何でしょうか？> 貴女はどこかの美術館や博物館にいたり、コンサートや映画を鑑賞することは好きですか。世界と日本の芸術論や芸術について、比較文化的な視野から学んでいきましょう。西洋の芸術論はアリストテレスの『詩学』をその始祖とし、以後の芸術学や美学は哲学的方法と科学的方法等がありますが、それらは体系的です。日本の芸術論はより実作に即して、片言隻語的ですが、そこになお珠玉のように光る芸術の真理を伝えていて、興味深いものがあります。

まず西洋・中国・日本のいくつかの芸術論をたのしく読んでみます。そのあと<ファッション・建築・自然・花のイメージ>などのキーワードについて、現代芸術のありようをビジュアルに眺めながら、比較文化史的に考えてみます。最後に、近未来の世界に広がる現代芸術や文化のあり様を予測してみましょう。

*授業の内容に関連して、都内の美術館見学を課外授業として行う場合もあります。

内容

- 1 序 芸術とは何か アリストテレス『詩学』から
- 2 西洋の芸術論
- 3 西洋の芸術論
- 4 中国の芸術論
- 5 日本の芸術論
- 6 日本の芸術論
- 7 <ファッション> 20世紀とココシャネル
- 8 20世紀とイヴサンローラン
- 9 <建築> 日本庭園の美学と世界都市の美学
- 10 <自然> アンとカナダ・プリンスエドワード島
- 11 モンゴメリーとプリンスエドワード島
- 12 <花のイメージ> 水仙の表象
- 13 百合の表象
- 14 <視覚障害者の芸術> ヘレンケラーと辻井伸行氏の音楽
- 15 近未来の世界芸術・文化----- 国際H A I K Uの流行

評価

平常点30点、レポート(または創作)70点などの評価により、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

毎回、プリントを配布します。

【参考書】今道友信著『美について』（講談社現代新書324）

川勝平太著『美の文明をつくる』（ちくま新書・2002年）

九鬼周造著『「いき」の構造』（岩波文庫・1979年）

科目名	地域文化論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

選択科目 メディアやインターネットの普及は、全国どこでもほしい情報が得られる環境を作り上げた。一方、少子高齢化はさらに進み人口減少社会にはいった。地域固有の生活文化は失われつつあり、都市住民の中には、田園志向、農業回帰の生活ニーズが生まれている。食の安全にかかる事件や東日本大震災によって、地方における暮らしや文化、中央と地方の関係、グローバル社会におけるコミュニティといった問題を、それぞれの地域から考える必要が高まっている。地域に根付いた農業女性の活動から学ぶ。 農業女性たちの課題解決の過程を学び、理解したことをまとめ、自分の意見を表現する力を養う。

内容

農業女性たちが地域からの情報発信と全国的ネットワークを実現した「田舎のヒロインわくわくネットワーク」の活動に学ぶ。農業という職業を通じて、食べ物や生き物の大切さを知る女性たちが、社会を変えるために何をしたのか、身近な女性の生き方から理解する。各章ごとに受講生の意見交換によって理解を深める。

1. 導入 - 都市と農村・中央と地方
2. 農村女性をとりまく環境と課題
3. テキストおよび著者紹介
- 4.-5. テキスト 第1章 森の学校に集まれ
- 6.-7. テキスト 第2章 女性が動けば世の中が動く
- 8.-9. テキスト 第3章 ヒロインは新しい農のパイオニア
- 10.-11. テキスト 第4章 株を買って総会にいこう
- 12.-13. テキスト 第5章 黙ってなんかいられない
14. 女性たちの地域参画とエンパワーメント
15. まとめ - レポート報告と講評

評価

各章ごとのミニレポートの発表と討論への参加(5割)、最終レポート(5割)、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書：やまざきようこ『田舎のヒロインが時代を変える』家の光協会 2004

推薦書：山崎洋子『田舎暮らしに夢のせて - 女のネットワーク誕生物語』家の光協会 1995

WAN編集・発行『生きることの中に「農」があった - 山崎洋子さんの場合』2001

WAN編集・発行『「嫁」が経営主になった - 熊崎美保子さんの場合』2001

WAN編集・発行『農業は私の職業だ! - 清水照子さんの場合』2002

田舎のヒロインネットワーク編『雪印100株運動 - 起業の原点・企業の責任』創森社 2004

科目名	福祉メディア論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

表現文化が社会とつながる一つの場として、福祉分野におけるコミュニケーションメディアについて考える。

近年、テレビドラマや映画にもしばしば見られるようになった手話は、聴覚障害者が日常生活の中で使用するコミュニケーションメディアである。また、視覚障害者には点字というコミュニケーションメディアがある。まず、手話や点字の成り立ちや歴史を知り、それらを日常生活の中で必要不可欠とする人々の生活はどのようなものなのか、また、これらのメディアが現代社会にどのように受け入れられているのかについて調べ、その問題点や課題について考える。

同時に、興味や必要がなければ触れることの少ない障害者のコミュニケーション方法を、初歩の段階だけでも学んでみたい。

この授業は手話や点字のコミュニケーションメディアを修得することを目指すものではない。これまで知らなかった世界を知り、社会人としての自分の生き方をしっかりと見据える目を養うことを目標とする。相手を知ることが、自分自身を知ることにもつながることを学習し、多様な人々が暮らす社会に対する視野を広めることを目標とする。。

内容

授業の中の数時間ではあるが、自分たちで学び合う手話のグループワークや点字の文書作成実技の時間を取り入れる。また、可能であればゲスト講師講義、点字図書館見学などの時間を設けたい。

- 1 ガイダンス
- 2 手話の歴史と現状
- 3 映像メディアの中の手話
- 4 グループワーク
- 5 グループワーク
- 6 グループワーク
- 7 グループワーク
- 8 聴覚障害者にとっての手話
- 9 視覚障害者のメディア
- 10 点字の歴史と現状
- 11 点字図書館
- 12 文書作成
- 13 文書作成
- 14 文書作成
- 15 まとめ

評価

授業態度、学習意欲などの平常点が40点、ペーパーテストもしくはレポートが60点で、合計60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

開講後、指示する。

科目名	王朝文化とメディア		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会のように様々な通信手段が発達していない1000年前の王朝社会において、私たちの祖先はどのように情報を伝達していたのか、その情報伝達手段と内容について学ぶ。

王朝文化隆盛期の平安時代に、私たちの祖先は繊細で優雅な手紙の趣向を工夫し、見事なメディア文化を生み出していた。それををいくつかの古典文学を通して学びながら、現代社会と比較して考える。

私たちの祖先が育てた高度なメディアテクニックを振り返り、現代の情報化社会の中で、本当に良いメディアとは何かを考えることを目標とする。

内容

王朝時代唯一の通信メディアである手紙の種々相を、女流日記文学を中心とする作品の中から取り上げ、その作法や効果について考える。また、同時にそれぞれの作品の作者と時代についても学んでいく。

1	ガイドンス 王朝文化のメディアとは
2	蜻蛉日記 作者と作品について
3	蜻蛉日記 恋愛と結婚の文
4	蜻蛉日記 菊の折り枝
5	蜻蛉日記 様々な文
6	和泉式部日記 作者と作品について
7	和泉式部日記 恋の始まり
8	和泉式部日記 恋愛の贈答歌
9	枕草子 文具・文使いなど
10	枕草子 中宮からの文
11	枕草子 男性貴族との贈答
12	源氏物語 折り枝の贈答
13	源氏物語 風雅な趣向・悪例の演出
14	源氏物語 筋の展開に作用する文
15	まとめ

評価

平常点40点とレポート60点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】テキストはなし。授業は配布するプリントによる。

【推薦書】各作品個々の参考文献は数多くあるので、必要に応じて授業で紹介する。

科目名	美術デザイン		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

デザイン（Design）とは、視覚や触覚を駆使して自己表現し生活を豊かにする営みのことである。狭い意味の模様作りやイラスト作成とは異なる。さらにデザインは【視覚言語】としてのコミュニケーション（Communication）媒体でもある。つまり非言語のコミュニケーション＝Non Verbal Communicationとして重要な手段である。そうした日常性の中にある視覚的な効果や影響力について認識を新たにすることや、自らが受け手であり発信者であることを自覚することが本授業のねらいである。

科目の概要

また、デザイナーとしての専門教育を目的としていない。「人間にとって造形性は必要である」ということに視点をおき、形や色彩に関わる概念を再認識し、自らが造形することの喜びを体感することもねらいのひとつともいえる。既成概念からの離脱を図り、新たな造形性を発揮し造形的思考力を高められることを望む。

学修目標

作品の出来具合、うまい下手で評価はしない。自らの感覚を駆使し感じ考え行動する...という行為の過程で【視覚言語】の確かさと不確かさを実感することを目標とする。

内容

造形行動は物的な材料を媒体として実現するものである。意図的な制作や構成を行う前に、物のもつ性質や可能性を直接体験を通して感受する必要がある。そこで次のような演習から視覚的変容を体験する。

- ・錯視（＝イリュージョン Illusion）の試み
- ・コンパスで構成する試み
- ・色彩と形、その相関関係の試み
- ・立体空間表現への挑戦

などを織り交ぜながら、年間演習を通して行う。

評価

主に講義内容の理解度により判断する。作品の上手い下手での評価ではない。挑戦している演習態度も考慮に入れる。（意欲的取り組み30%、スケッチブックの内容70%）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。

推薦書については時に応じて適宜授業内で紹介する。

科目名	アニメーション		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 1年次の情報処理演習を踏まえて、そこで習得したコンピュータのスキルをさらに発展させることを狙う。それゆえに、1年次の情報処理演習I,IIの単位を修得していることが必要である。

科目の概要 まず、アニメーションに対して、心理学的な考察、物理学的な考察、数学的な考察を行う。それらを踏まえた上で、サウンド、写真などを盛り込んだ、アニメーションを作成する。特に、折り紙の折り方を教える、手話を教えるなど教育的な目的をもったアニメーションを作成する。

学修目標 わかりやすく表現する方法としてのアニメーションの特性を理解する。

内容

1	オリエンテーション
2	人間に連続的に見えるアニメーションの原理について、視覚心理学的な考察を行う。
3	アニメーションにおいて欠かせないサウンドについて、聴覚心理学的な考察を行う。
4	アニメーションの技法において重要な、視聴覚の相互作用について考察を行う。
5	物理学的な考察 色、音を扱うために、その初歩を学ぶ。
6	数学的な考察 3次元空間に関する「感覚」が必要である。その感覚を養う。
7	教育学的な考察 アニメーションを作成するために、教育的に適切な分野は何か考察する。
8	ペイント系ソフトウェアの基本的な学習
9	ドロー系ソフトウェアの基本的な学習
10	映像系ソフトウェアの基本的な学習
11	映像系ソフトウェアの応用的な学習 特に画像系ソフトウェアとの関係からの学習
12	音声系ソフトウェアの基本的な学習
13	音楽系ソフトウェアの基本的な学習
14	アニメーションの作成 教育的な目標を設定し、簡単なアニメーションを作成する。
15	まとめ

評価

提出してもらったレポート、作品(15点)を、150点満点(15x10点満点)で計算し、90点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを配布

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

映像はテレビ、映画、インターネットなどで日常的に見慣れたものになっています。

この科目では、映像を見るだけでなく、デジタルカメラやビデオカメラで自ら映像を撮影します。

撮ることを通じて映像に対する理解を深め、あわせて撮影技術の向上もはかります。

科目の概要

写真はフィルムからデジタルカメラの時代に、ビデオはハイビジョンの時代となり、ハイビジョン対応の家庭用ビデオカメラが市場に出回っています。

これらのカメラは映像表現の手段として申し分のないものです。

最近めざましい進歩をとげているデジタルの撮影機材のしくみと特性を理解し、映像表現のための便利なツールとして、使いこなそうとするものです。

学修目標

以下の4点です。

- 1、写真撮影について理解し、デジタルカメラを用いて表現する。
- 2、写真(静止画)の特長とビデオ(動画)の特長の違いを理解する。
- 3、ビデオ撮影を実践することにより、その映像表現について体験し、理解を深める。
- 4、ビデオ映像は編集を前提として撮影されていることを理解する。

内容

1	何を、どんなカメラで撮るのか
2	写真1 まず撮ってみよう
3	写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4	写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5	写真4 テーマを決めて撮る
6	写真5 デジタルで保存する
7	写真の良さ。ビデオの良さ。
8	ビデオ撮影1 ビデオカメラのしくみを理解する
9	ビデオ撮影2 長さ(時間)の要素
10	ビデオ撮影3 音を効果的に使う
11	ビデオ撮影4 アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12	ビデオ撮影5 被写体が動く。カメラとVTRが動く
13	編集の役割
14	レポートについて
15	まとめ

評価

実習40点、作品30点、レポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とします。
三分の二以上出席することで評価を受けることができます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材は、その都度、資料として配布します。

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

映像はテレビ、映画、インターネットなどで日常的に見慣れたものになっています。

この科目では、映像を見るだけでなく、デジタルカメラやビデオカメラで自ら映像を撮影します。

撮ることを通じて映像に対する理解を深め、あわせて撮影技術の向上もはかります。

科目の概要

写真はフィルムからデジタルカメラの時代に、ビデオはハイビジョンの時代となり、ハイビジョン対応の家庭用ビデオカメラが市場に出回っています。

これらのカメラは映像表現の手段として申し分のないものです。

最近めざましい進歩をとげているデジタルの撮影機材のしくみと特性を理解し、映像表現のための便利なツールとして、使いこなそうとするものです。

学修目標

以下の4点です。

- 1、写真撮影について理解し、デジタルカメラを用いて表現する。
- 2、写真(静止画)の特長とビデオ(動画)の特長の違いを理解する。
- 3、ビデオ撮影を実践することにより、その映像表現について体験し、理解を深める。
- 4、ビデオ映像は編集を前提として撮影されていることを理解する。

内容

1	何を、どんなカメラで撮るのか
2	写真1 まず撮ってみよう
3	写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4	写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5	写真4 テーマを決めて撮る
6	写真5 デジタルで保存する
7	写真の良さ。ビデオの良さ。
8	ビデオ撮影1 ビデオカメラのしくみを理解する
9	ビデオ撮影2 長さ(時間)の要素
10	ビデオ撮影3 音を効果的に使う
11	ビデオ撮影4 アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12	ビデオ撮影5 被写体が動く。カメラとVTRが動く
13	編集の役割
14	レポートについて
15	まとめ

評価

実習 40 点、作品 30 点、レポート 30 点の合計で評価し、60 点以上を合格とします。
三分の二以上出席することで評価を受けることができます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材は、その都度、資料として配布します。

科目名	マンガ文化論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

戦後日本の代表的なポピュラー文化として、マンガとアニメーションは相互に影響を与え合いながら発展してきました。その結果、マンガやアニメは、「ソフト・パワー」として現在日本の産業を支える重要なコンテンツになっています。日本ではどうして、こんなにもマンガとアニメが普及したのでしょうか？ その歴史的な文脈を探りながら、わたしたちの社会や文化、日常生活の中でマンガとアニメが果たしてきた役割を、文化社会学的な視点から考察します。そのために、広く社会学、歴史学、文化研究、メディア論、表象論、文学理論など、分析のために役立つ理論や方法論を毎週の講義を通じて紹介していきます。最終的には、受講者が実際にレポートなどを作成する際に使えるような知識を学んでもらうことが本講義の目的となります。また、製作現場が実際にはどのように展開されているかを学んでもらうために、実際にマンガやアニメーションの製作に関わっている特別講師の方を招いて特別講義をしてもらうことになっています。

内容

1. ポピュラー文化としてマンガとアニメをどう考察するか
2. 戦後マンガの歴史(1) 手塚治虫が開いた世界
3. 戦後マンガの歴史(2) 少年マンガの世界
4. 戦後マンガの歴史(3) 少女マンガの世界
5. マンガと表象(1) ジェンダーの視点から
6. マンガと表象(2) 恋愛の視点から
7. マンガとその製作現場 特別講師の授業
8. 戦後アニメの歴史(1) テレビアニメの世界
9. 戦後アニメの歴史(2) SFアニメの世界
10. 戦後アニメの歴史(3) アニメ映画の世界
11. アニメと表象(1) ハイブリディティの視点から
12. アニメと表象(2) テクノロジーの視点から
13. アニメとその製作現場 特別講師の授業
14. 「クール・ジャパン」現象を再検討する
15. まとめ

特別講師の講義日程によって、順番については多少の変更があります。

評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%を総合して評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書

津堅信之・アニメーション学入門・平凡社新書

推薦書

大塚英志 + ササキバラゴウ・教養としての まんが・アニメ

米沢嘉博・戦後少女マンガ史 ・ちくま文庫

その他、必要に応じて、授業の中でテキストを指示し、プリントを配布します。

科目名	近現代文学論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

テーマは「文学の教養A to Z」

アメリカの作家A・ビアスの奇書『悪魔の辞典』のなかから、26のキーワードをえらび、文学と社会の多様な関係について論じます。

文学者の視点に立つと、どのような世界がみえるのか。合理的な社会分析とは異なる、主観と自意識に彩られた歪んだ世界、それでいて真理を穿つ視点。社会における文学の位置づけを考えると同時に、文学者の視野から見える社会を知ること、思考の柔軟性と批評力を鍛えます。

内容

1	プロローグ：『悪魔の辞典』について
2	Ambition(野心)/Back(背中)：日本初の“近代文学”について
3	Critic(批評家)/Discriminate(識別する)：ロシアの“近代文学”について
4	Eavesdrop(立ち聞き)/Female(女性)：“小説”の起源について《その1》
5	Grammar(文法)/Habit(習慣)：“小説”の起源について《その2》
6	Interpreter(通訳)/Joss-sticks(中国線香)：輸入文化について《その1》
7	Kilt(キルト)/learning(博識)：輸入文化について《その2》
8	Multitude(群衆)/Notoriety(悪名)：通俗について《その1》
9	Oblivion(忘却)/Platitude(陳腐)：通俗について《その2》
10	Quotation(引用)/Reality(実在)：前衛について
11	Serial(続き物)/Type(活字)：メディアと作品について《その1》
12	Usage(慣用法)/Virtues(美德)：メディアと作品について《その2》
13	War(戦争)/Xanado(ザナドゥ)：言葉のリアリティについて
14	Yesterday(昨日)/Zigzag(ジグザグ)：読書について
15	エピローグ：総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー(50%)、学期末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

アンブローズ・ビアス『悪魔の辞典』(角川文庫、ISBN 978-4-04-236401-6-C0197)

その他毎回の授業時にプリントを配布。

科目名	エッセイ入門		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

なにげなく見過ごしがちな、日常の細々とした事象に目を向け、文章というかたちですくいとることを行います。脚本家で作家の向田邦子の文章を手本として、その文体、文章構成の技術を学びながら、近代的な文章スタイルの基礎を身につけます。その上で独自のスタイルを確立していくことを最終目標とします。

内容

講義 1～7：「今朝の私」を書く。

作家のエッセイを鑑賞・筆写することと、実際に自分で書いてみることを、隔回ごとに繰り返しながら、文章構成の技術や、文体のバリエーションを身につけるための基礎訓練を行います。

講義 8～15：自分の視点を確立する。

毎回の課題作文を通じて、他人に読ませるための文章技術を学びます。

おもに取り上げる課題は、「季節の気配」「町並み」「ピンチ」「食べる」「寝る」「歩く」など。

その他、受講者の顔ぶれに応じて対応します。

評価

毎回提出する原稿（50％）学期末作品（各50％）。合計60％以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

向田邦子『無名仮人名簿』（文春文庫、ISBN-13: 978-4167277031）

科目名	小説入門		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

小説の読解や小説の理論を学び、自身の創作に活かす。

小説を実作し、全員の作品を一冊の創作集にする。その創作集をもとに相互批評（合評会）を行う。すぐれた作品から、小説の技術や方法を学び、レポートをしてもらう。小説の理論などについても学習する。

小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り（文体）の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

小説に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらう。その後、合評会で相互評価を行う。合評会の成果をレポートしてもらう。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらう。創作物の提出60%、授業への参加40%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は授業中に指示する。参考書として手軽に入手できる入門書は、高橋源一郎『一億三千万人のための 小説教室』（岩波新書、2002）清水良典『2週間で小説を書く！』（幻冬舎新書、2006）岡崎宏文・豊崎由美『読まずに小説書けますか』（メディアファクトリー、2010）など。

科目名	小説の探究		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「小説入門」の授業をもとに、よりすぐれた小説を創作できるように技術を磨く。小説の読解や小説の理論を学び、自身の創作に活かす。

小説を実作し、全員の作品を一冊の創作集にする。その創作集をもとに相互批評(合評会)を行う。すぐれた作品から、小説の技術や方法を学び、レポートをしてもらう。小説の理論などについても学習する。

小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り(文体)の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

小説に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらう。その後、合評会で相互評価を行う。合評会の成果をレポートしてもらう。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらう。

創作物の提出60%、授業への参加40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考書として手軽に入手できる入門書は、島田雅彦『小説作法ABC』(新潮社、2009)岡崎宏文・豊崎由美『読まずに小説書けますか』(メディアファクトリー、2010)など。

科目名	伝統芸能入門		
担当教員名	井上 愛		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義は、アニメや映画、お芝居などに興味がある人に、「こんなのも面白いんじゃないかな」と、日本で育まれてきた芸能を多ジャンルにわたって紹介することを目的としている。「伝統芸能」というと、ちょっと身構えてしまう人も多いだろう。現代に生きるわたしたちがパフォーマーの技や俳優の演技に感動するように、昔の人々も踊り、歌い、楽器を鳴らしながら演じる芸能者に熱狂した。この講義では、古今の様々な分野の芸能をDVDなどで鑑賞することで、受講者自身の観る目を養い、伝統芸能とともに現代の芸能について考えていきたい。

歌舞伎、落語、能・狂言、文楽など、多ジャンルの伝統芸能についての知識を得ることを通して、現代の芸能について関心を高める。なお、一度、国立能楽堂で能と狂言を鑑賞することを計画している。

- 1、日本の芸能について、幅広い知識を得る。
- 2、古典から現代までの芸能者たちが演じる身体について学ぶ。
- 3、伝統芸能が現代の芸能にどのようにつながっているかについて考察する。

内容

1	ガイダンス ～「声」が持つ魔力・言霊～
2	ガイダンス ～「声」の魅力を想像する・今様を中心に～
3	日本の【お笑い】入門 ～落語と狂言～
4	落語編 ～一人で話す、笑わせる、「間」を知る～
5	狂言編 ～主人と太郎冠者のかけあい・ボケとツッコミ～
6	舞踊と女と花道と ～【歌舞伎】入門～
7	役者が体現するパイオレンスの魅力 ～歌舞伎・荒事入門～
8	優男(やさおとこ)の魅力も捨てられない ～歌舞伎・和事入門～
9	神を操り・人を操る ～【文楽】入門～
10	義太夫の声の魅力を知る
11	「心中」って知っていますか? ～文楽「曾根崎心中」を観る～
12	「過去の記憶」に耳を澄ます ～【能楽】入門～
13	最古の演劇論『風姿花伝』年来稽古条々を読む
14	子を亡くした母親の悲劇 ～能「隅田川」を鑑賞する～
15	まとめ

評価

レポート... 50%、各授業の提出物... 30%、授業態度... 20%。60%以上で合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。授業時に適宜プリントを配布する。

科目名	アートとデザイン		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

現代社会に暮らす私たちは、様々な表象（イメージ）に囲まれています。それらは「だれか」の意匠であり、知らないうちに私たちの無意識に入り込み、世界観が作られる要因にもなっているのです。時代や文化の異なる芸術作品、デザインなどを鑑賞しながら、その時代や文化を、想像力をもって推し量り、現在の自分の見方、考え方をつくる手助けになればと考えています。

文字や印刷術、映画、コンピュータによる映像など、メディアを軸に表現・表象（イメージ）の歴史をたどっていきます。表現は時代背景と密接に結びついています。歴史的な背景を考慮し、時代の「心」に少しでも近づけるよう展開していきたいと思っています。また、アーティストやデザイナーにとって、制作の原理 となっている、色彩論（カラーコーディネイト）や視覚心理などについて、簡単な演習を含めて展開していきます。

作品鑑賞や簡単な実習を伴っているため、出席して授業に参加することが重要です。

内容

- ・ “ことば” というメディア
- ・ 文字の歴史 アルファベットと漢字
- ・ 印刷術の発明
- ・ 19世紀の大発明「写真」と美術
- ・ 動く映像 アニメーション始まり
- ・ 写真から映画へ
- ・ 3D映像の原理
- ・ 色彩の原理と配色の練習
- ・ ゲシュタルト心理学について
- ・ 西洋美術の歴史 キリスト教と美術
- ・ 中世から近代へ 神から人への視線変更
- ・ ルネッサンスと遠近法
- ・ 世紀末のデザインと美術
- ・ 心理学が美術を変えた - シュルレアリスム
- ・ アートと身体
- ・ まとめ

評価

平常点50点、提出物等20点、期末テスト30点 により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず。毎回プリントを配布